

ECHO

2017.11
No. 534



ガバナー スローガン

語ろう 築こう、奉仕の新世紀

特集

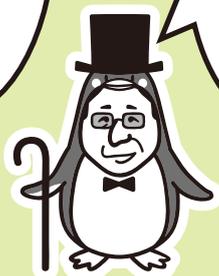
地区ガバナー、「会員増強・退会防止」を語る！
リジョン特集 (2R、6R)
キャビネット事業報告

本誌は世界最大の奉仕団体ライオンズクラブの地方情報誌です。

「燃える男」能澤地区ガバナー パワフルに前進中！！



適度に
ブレーキかけてます。



二人三脚で
苦楽を共にしています。



分身も本人と共に
頑張ってます。

地区ガバナー、「会員増強・退会防止」を語る!!

Q 今回の巻頭テーマは、「会員増強・退会防止」ですが、地区ガバナーとして、このテーマについては、どんなイメージをもっておられますか。

A これは、ライオンズクラブがいつも掲げている大問題です。特に最近では、いくら会員が増加しても、会員減少がそれを上回り、トータルではマイナスという問題に頭を抱えているライオンズクラブが増えています。

私は、この問題は、「ライオンズクラブにおける会員数の重みとは何か。」という本質的なものをつかむことが大切だと思います。

「本質的」といいますと。

A ライオンズクラブの存在基盤は、「ウィ・サーブ（我々は奉仕する）」です。それは、端的にいうと、ライオンズクラブの生命線は、地域社会の隅々にまで及ぶあらゆるニーズを適確にとらえ、これにこたえていく使命を発揮することです。既にこれまで私が地区ガバナーとして何度も強調してきた「市民目線の地域貢献」が、このことを意味しています。

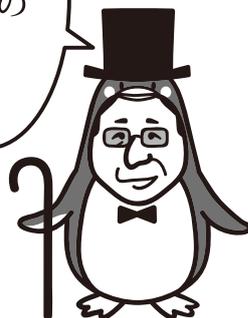
Q

A そして、ライオンズクラブが、地域社会の隅々にまで「ウィ・サーブ（我々は奉仕する）」を展開していくためには、会員数が多ければ多いほどその力が大きくなり実りも大きくなるのが期待できます。このことは、シカゴの国際大会で、国際会長ナレシユ・アガワルが強調されたことでもあります。

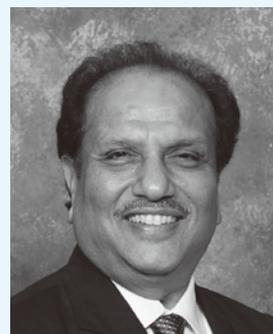
Q 国際会長ナレシユ・アガワルが強調されたときれる印象的なフレーズを紹介していただけませんか。

A そうですね。いろいろありましたが、今期のライオン誌8月号を参照してもらおうとわかりやすいです。例えば、国際会長はこんなことを語っておられました。

会員数の重みとは何か？



地区ガバナー
L 能澤 正明



国際会長
ナレシュ・アガワル

○ 国際会長ナレシュ・アガワルの弁

「ライオンズクラブは、この100年間で、140万人という規模に成長し、シカゴのたった一つのクラブを、200以上の国や地域、4万7000クラブへと広げてきました。」

「私一人では車を持ち上げることはできません。でも力を合わせればそれができます。一人の人が農村に教育をもたらすことはできませんが、志を同じくする人が集まればそれができます。私たち全員が一つになれば、不可能は可能になるのです。そして、メンバーの輪が広がれば、世界の問題は小さくなるのです。」

「2021年までに年間2億人に奉仕するという目標に到達するためには、新会員を増やし続けることが必要不可欠です。」

Q

ライオンズクラブのメンバーの輪が広がれば、それだけ地域社会への奉仕活動も活発化し、不可能と思われた奉仕活動も可能になるといえることですね。

A

そういうことです。ただ、そのためにはやっぱりメンバーとなる各人が、志をきちんと持って参加していただくことが必要です。単に形だけ数が増えてもダメで、「メンバーの質」も問われていくことになるわけです。私は、クラブのメンバー数を考える場合には「数も大事、質も大事」と思っているので、単なる「会員拡大」ではなくて、「会員増強」という言葉を意図的に使っています。

各ライオンズクラブにおかれては、もう一度何のために「会員増強」が必要なのか、その原点を確かめる真剣な議論をしてほしいですね。実はその議論を尽くしつつ、活発なライオンズ活動を展開していけば、おのずと「退会防止」の道も開けてくると思うんです。

Q

「退会防止」の道も開けてくると思いますと。

A

メンバーとなる各人の質を問題にするということは、入会者の志を大切にし、入会後にも奉仕活動に参加してもらい、ともに成長してもらうことを意味しています。このアプローチが適切になされていくならば、ライオンズメンバーとしての自覚も高まり、ますます参加意欲がわくこととなります。そうすると、入会者と仲間のメンバーとの絆も深く強くなり、結果として「退会防止」になるということですね。

Q

なるほど。そういうことですか。でも、現実には厳しいですね。

A

確かに、簡単には「退会防止」に歯止めがかからず、

厳しいようです。メンバーの高齢化も進み、入会候補者が少なくなってきたことに加え、会員増強を急ぐあまり、入会候補者に対するアプローチが杜撰であったり、例会や奉仕活動のマンネリ化、陳腐化により新入会員がライオンズクラブに魅力を感じなくなった、などの事情も伝え聞いております。そのようなことも一因となつてか、特に3年未満の退会率が高いと言われていますね。

Q クラブがせっかく新入会員を獲得してもそれを上回る退会者が続出しては、「元の木阿弥」ですよ。

A そうなんです。だからこそ、会員増強と退会防止は「車の両輪」といわれているんです。現在、この問題を抱えているクラブはもろろんのこと、仮に現在問題なく運営しているクラブであっても、高齢化社会を見据えて、5年後、10年後の展望を持った方策を立てておく必要があると思います。

Q ライオンズクラブにとつての永遠のテーマともいえるこの問題の即効薬はあるのでしょうか。

A 即効薬は簡単には見つからないでしょう。ただ、この問題を解くカギは、「会員増強」に限っていえば、ライオンズクラブの側だけでなく、入会候補者とされる方々の側からも見てみる必要があると思いますよ。

Q それはどういうことでしょうか。

A 入会候補者の側からすると、まずは、ライオンズクラブとはどういう団体なのか、その規模は、運営体制はどうなっているのか、入会した場合にかかる費用は、かかる時間は、仕事への影響は、など様々な疑問を抱いているはずなんです。この方々にライオンズクラブ側からの適切な情報開示を行い、場合によっては、実際に例会や奉

仕活動を見ていただくなど理解を深めていただく必要があると思います。「百聞は一見にしかず。」ということです。

Q 「見て、聞いて、納得して」しかる後に入会となると、ライオンズクラブとしても身が引き締まり「魅力的なライオンズクラブの実現」を意識するようになりますね。

A そのとおりです。魅力のないライオンズクラブなら入会しないでしょうし、仮に入会してもすぐに退会ということになりかねませんからね。

Q 入会候補者が入会した後のライオンズクラブとしての対応として特に気をつけることがありますか。

A 新入会員には、まず入会したライオンズクラブにうちとけてもらうように、例会でも奉仕活動でも積極参加してもらおうことですね。これに呼応してライオンズクラブとしても、クラブ全体で新入会員をサポートしていくようにしたいものです。具体的には、例会で必ず発言させる機会を与えらるか、奉仕活動における役割を明確化して活躍してもらおうとか、新入会員とか3年未満会員に対する系統的な研修セミナーを実施するとか・・・

Q ほかに「退会防止」の妙案はありますか。

A これも、簡単には見つかりませんね。ただ、これまでともに会員として頑張った仲間が減ることはライオンズクラブにとつて痛手であることは間違いありません。この問題が起こった時に、きちんと事情を精査しているのでしょうか。慰留はしているのでしょうか、退会者の気持ちは正確に把握されているのでしょうか。

A 退会は、奉仕活動の戦力を失うことですから、新入会

員の獲得以上に大問題です。どうして退会表明を出すことになったのか、きちんと原因究明すべきであって、退会届が出たからしようがないでは済まないことだと思えます。原因究明の結果次第では、ライオンズクラブの在り方そのものを見直すことにつながるかもしれません。教訓化し、肝に銘ずることがあるかもしれません。場合によっては、退会ではなく一時不在会員なり賛助会員とし、クラブとの関係から切り離さない方策があるかもしれません。この問題こそ軽率に対応することを戒め、丁寧に対応してはいかがでしょうか。

Q 話題を変えますが、家族会員についての入・退会についてのお考えをいただきたいのですが。

A これについても、確かに問題が噴出しています。簡単に入会し、簡単に退会する。どうしてこんなに軽いのかというと、家族会員の位置づけが弱いからだと思います。ライオンズクラブの会員数が全体としてプラスよりもマイナスが多いこともあって、これを打開する方策の一つとして、家族会員を制度化させ会員増をはかりました。しかし、実際のところ、「会員増＝会費増」を指すことへのみ意識が先走り、肝心の家族会員の未来像がきちんと設定されないままが進んでしまったといえるかもしれません。家族会員の方の中には、自分が家族会員であるという自覚をお持ちでない方が多くいるのではないのでしょうか、単に会員数の増加の一助、あるいは会費の増加の一助とするだけのものではあれば、入会も、退会もその場限りのものとなってしまおうと指摘されても否定できません。その弊害が現実化しているような気がします。

Q では、家族会員については、どうすべきものでしょうか。

A 制度として既にあるのに「魂」が入っていないのですから、「魂」を入れるべきです。具体的には、家族会員の役割、地位、活動形態、などをきちんとわかりやすい形で整理し、家族会員の方々に周知徹底していただく作業が必要です。家族会員が、未来へと続く奉仕活動の大きな支えとなるような位置づけを鮮明にし、それにふさわしい役割ないしは活動スタイルを構築していくべきと考えております。

Q 今回お話しいただいたことの今後の展開ということになりますと、どういうことになるのでしょうか。

A キャビネットには、これらの問題を深く考究し、方針を立ち上げ、実践していくための指導的立場として、GMT(会員増強)、GLT(指導力育成)、FWT(女性会員・家族会員増強)の各コーディネーターの方々を擁しています。これらの方々の識見と能力に依拠しながら、「会員増強・退会防止」の大問題への方策を立て、輝かしい未来に向けて切り開いていくことが必要であると認識しております。地区ガバナーとしても全力で取り組む覚悟しております。

Q 本日は、「会員増強・退会防止」に関する貴重なお話をありがとうございました。

※ 会員の入・退会についての資料(331-A地区の過去3期分)を別途整理して掲載しましたので是非参照してみてください(本誌10～12ページ)。

覆面座談会

●●●退会者が本音を語る!!

本日は、アツと驚くサプライズ企画。ライオンズクラブで活躍され、その後退会された3名の皆様にご登場願ひ、いろいろと本音のお話をお聴きすることになりました。3名の皆様は、年齢的には、Aさんが80代、Bさんが70代、Cさんが60代となっており、所属していたライオンズクラブも別々で、ライオン歴が15年ないし25年というベテランの方ばかり。どんなお話が飛び出すやら興味津々・・・



Q

本日はご苦勞様です。皆さんは、それぞれにお立場もあり、ライオンズ歴もそれなりの方々ばかりですが、あえて「本音」のお話をうかがいたいのので、お名前も出しませんし、写真も撮りません。「覆面座談会」ということで進めさせていただきます。

最初は、Bさんからお願いしますね。どうでしょう。ズバリ、どうしてライオンズクラブをやめることになっちゃったんでしょうか。

Bさん

私は、退会者ですが、ライオンズクラブ自体が嫌いなわけではないんです。やっていることは素晴らしいと思っ
ているし、これからも組織として磨きをかけていって欲しいと願っている一人です。ですが、どうにも我慢ができません。やめることになったのです。はっきりいって、クラブの中に独裁的な態度をとるものが出て、これに対する反発が一番の原因でした。

Q

「独裁的」ってどういうことですか。

Bさん

要するに、彼が、自分ひとりで物事を決めてしまい、根回しで固めてこれをクラブに押しつけるんです。役員会ではいつも彼の意見がまかり通り反対意見がつぶされます。私としては、抵抗しようとしたところもありましたが、常日頃がこの調子なのでだんだんクラブそのものに嫌気が指してしまったのです。



Q 役員会がきちんと機能していなかったのですか。

Bさん 役員会とはいっても、彼に反対するには相当な覚悟が必要で自由に意見を取り交わす雰囲気ではないんです。クラブ全体が、彼の意見に反対したくてもできない空気になっていました。

Q それでは、Cさんはいかがでしたでしょうか。

Cさん 実は、私も退会した理由は、Bさんのいうような「独裁的な」人物の存在が大きいです。でも、Bさんのいたクラブよりもっとひどいかもしれません。こちらは、役員会すらもやっていかなかったのですから。



Q 役員会もやらないってホントですか。

Cさん そうなんです。だから、真面目に話し合う機会すらないんです。すべては「独裁的」人物の思うがままに進んでいきます。私もこの有様にすっかり嫌気がさして退会しました。

Q 最後にAさんはどうですか。

Aさん 不思議ですね。私もお二人の話には共鳴します。私の退会理由も我を通す人物がいたせいでクラブの雰囲気ですっかりおかしくなってしまうことが原因となっています。

ライオンズクラブは、会員が同じ会費を払っているのですから一人ひとりに対等な権利があるはずですが、でも、

とても対等なんてもんじゃありません。我を通す人物の意見がそのまま通ってしまうんです。これでは、ついていけない人が出るのは当たり前ですよ。

Q 皆さんは、それなりにライオンズ歴もあるのに退会されましたが、全く不本意な理由で退会したことになるんですね。組織のあり方、役員会のあり方、個々の会員の権利の尊重など基本的かつ原則的なことが問題だったということでしょうか。

Cさん そうなんです。こんなことではライオンズクラブは衰退の一途だと思えます。外観を取り繕うことばかり気にしていて、本当に大事なことをないがしろにしています。こういうところにメスを入れないとライオンズクラブに未来がありませんよね。

Q 一生懸命に会員拡大してもドサツと退会することを続けていけば結局のところ発展しないということですか。

Bさん 尻に火がついたままのランナーが、その火を放置したまま走り続けても、やがては倒れてしまうみたいな話ですね。

Cさん 同感。

Aさん 同じく。

Q 寂しい話になってきましたね。ところで、若手の会員の方の退会についてはどうお考えですか。

Cさん まず、目につくのは若手に妙な先入観を与えて期待させすぎという問題があります。「入会したら仕事になる

よ。」とかいって誘い込み、若手が見込み違いを実感して「アツ」とかいって退会というのがありましたね。誘い方にも問題があるし、誘われたほうも「軽すぎ」といえます。

Bさん 若手が入会しても、先輩との敷居が高くて「俺の言うことを聞け」みたいな高圧的な態度に嫌気を指して退会というのもありましたね。

Aさん クラブ全体で若手を盛り立てどンドン意見を言わせるという雰囲気作りをしてあげるといいうことも必要なことですよね。ただご飯を食べて帰るだけの例会では意味がない。魅力的なクラブ作りをしていかなければ「つまらない」との結論を出して退会に拍車がかかるだけです。うちのクラブでは、執行部が若手と盛り立てることを考えていなかったようです。



Bさん もう一言いわせてください。若手の勧誘について、「人数が足りないから名前だけでも貸して。」とか「自分が会長の間だけでいいから入会して欲しい。」みたいな話もよく聞こえてきますね。これではライオンズクラブは衰退するばかりです。

Cさん そうそう。それで、ライオンズクラブの年度初めにドサツと会員が増えたように見えても、年度末の会長交代時期になるとまたドサツと退会者が出るという悪循環が繰り返されるといいう話をよく聞きますよね。

Q ついでに家族会員の入会・退会についてもご意見を頂きましょうか。

Cさん これも、はつきりいつて問題ですね。正会員の減少を家族会員でカモフラージュしているとしか思えません。家族会員になられた方は本当に会員としての説明を受けているのでしょうか。これまた員数あわせだけ、あるいは会費増・収入増だけを狙ったものと指摘されてもしょうがないような気がします。

Bさん 正会員が退会すれば、必然的に家族会員も退会することになるでしょうから、会員の減少は当然に家族会員の減少を伴うことになり、総体としての会員減少が2倍、3倍で進行していくわけですね。これもまた、実にひどい話です。家族会員の位置づけをきちんとしていないことの末路といえると思います。

Aさん 家族会員の人数増で退会防止の歯止めをはかろうとしても何ら抜本的な解決策にはなりません。やはり、会員にとって風通しがよく、老若男女問わず自由に意見が述べられるようなそんな魅力的なクラブにならないとライオンズの未来は暗いような気がします。

Q 皆さんは、魅力的なクラブが見つかるのであれば、会員としての復活可能性はあるのでしょうか。

Bさん 勿論あります。

Cさん 私も同じです。

Aさん 私は、もう歳なので考えさせていただきます。

Q 皆さんにとって、魅力的なクラブになるには、どうすればよいのか、何かお考えはありますか。

Aさん ライオンズクラブには、「批判は謙虚に、賞賛は惜しみ

なく」という道徳綱領があります。「我を張っているな」と感じて、なかなか、大先輩に対しての批判はしにくいと思います。基本的には各クラブの問題ではありませんが、その弊害が見られる以上、ガバナーやキャビネット、近頃ではG M Tとかいうところが力を発揮して、この問題にメスを入れ、膿を出す方策を打ち出す必要があると思いますね。

Bさん 同感。この問題をキチンと受け止めて問題意識を持つべきです。

Cさん 私も同感。退会原因の分析をもっときちんとして欲しいと思います。

Q 本日は、皆さん、どうして退会したのかについて、「歯に衣着せぬ」本音に迫るご意見を頂きました。反響もあるでしょうが、貴重なご意見としてエコー誌に掲載させていただきます。ご多忙のところありがとうございます。



本音の話、
ありがとうございます。

BARBER & BEAUTY
NOZAWA

有限会社 能澤理美容院

事務所 札幌市東区北12条東1丁目1-22 ☎(代) 711-6271 FAX 711-6288

代表取締役会長 **能澤 正明**

<http://www.nozawa.co.jp>

<331-A 地区 地区ガバナー 広告>

さわやかな風をお届けいたします…

総合ビルメンテナンス

株式会社 清風堂

札幌市東区北16条東1丁目2-15 グランメールアサヒ 1F
TEL011-748-6868 FAX011-748-6888

<地区PR・ライオンズ情報委員長 広告>



クラブ発展のために 為すべき二つのこと



331-A地区
GMTコーディネーター
L末神 裕昭

地球上では、推定3000万種とも言われる多種多様な生き物たちが、さまざまに繋がりが合い、バランスを取り合い、環境の変化に合った変化を遂げながら、過去から未来に向けて絶滅と進化を繰り返しています。

私たちの星地球が、生命（いのち）を宿しながらかくも長く存在し続けられたのは、この『生物多様性』があったからと言われています。同じことはライオンズクラブにも言える、私はそう考えています。あらためて述べるまでもなく、ライオンズクラブの前身は職種の異なる実業家たちの集りでした。メルビン・ジョーンズは、せっかく集まったこの集団が、ただの商売や社交の場にとどまるのはもったいない、何か社会に役立つ活動ができないかと考え、この組織を立ち上げたのです。以後ライオンズクラブでは、一貫して、様々な分野で専門職に就いている専門家やそれに準じた能力を持っている者が数多く集まり、その経験や能力を活かす形で活動して来ましたが、それだけではありません。このような活動を継続するため、経験深い先輩メンバーが若いメンバーを暖かく見守り、埋もれた人材を適

材適所に発掘しながら順次バトンを渡し続けて来ました。その結果、常に新しいメンバーによるフレッシュで社会環境の変化に適応したクラブ運営が行われ、クラブ全体のレベルアップが図られてきたのです。「一人の英雄もいなく、一人の非協力者もない」、そのような理想が今日のライオンズを牽引してきたのです。

これらのことは、私たちに二つのことを教えています。一つは、会員を増やすことの意義と重要性です。クラブが活性化し持続するためには、職業も性別も生まれ育った環境も異なり、従って多種多様な考え方を持つメンバーが、より多く集い知恵を出し合うことが不可欠なのです。もう一つは、「クラブはみんなが運営していくもの」という意識を持つことの大切さです。先輩メンバーが経験を伝えつつ、若いメンバーに活躍と挑戦の場を与えながら順次バトンを渡し続けるのでなければ、クラブは停滞し、持続することが困難なのです。逆説的に言えば、会員増強の努力を欠き、また、特定のメンバーによって独断的かつ独善的に物事が決められるなど民主的なクラブ運営が為されていないクラブに明日はないのです。

今回の覆面座談会の参加者は、ライオンズ愛に溢れている方ばかりでした。そのような会員を守り切れず退会に追い込むことがクラブにとってどれだけ損失であるか、あらためて申し上げるまでもありません。今期は、ガバナーを先頭にGMTも総力を挙げて会員増強とクラブ改革に取り組みたいと考えています。メンバーの皆様も、できることならば退会を選択する前に、声を大にしてクラブ発展のための体質改善を主張し、実現する努力をして下さるようお願い申し上げます。

2015 期首からの会員動静

2014年7月～2015年6月

1R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	470	25	66	-41	429
家族会員	116	23	4	+19	135
合計	586	48	70	-22	564

2R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	478	38	66	-28	450
家族会員	90	70	13	+57	147
合計	568	108	79	+29	597

3R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	329	25	31	-6	323
家族会員	35	27	9	+18	53
合計	364	52	40	+12	376

4R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	293	72	35	+37	330
家族会員	19	34	1	+33	52
合計	312	106	36	+70	382

5R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	444	24	62	-38	406
家族会員	6	77	3	+74	80
合計	450	101	65	+36	486

6R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	315	37	21	+16	331
家族会員	21	13	0	+13	34
合計	336	50	21	+29	365

全R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	2,329	221	281	-60	2,269
家族会員	287	244	30	+214	501
合計	2,616	465	311	+154	2,770



2016 期首からの会員動静

2015年7月～2016年6月

1R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	429	44	31	+13	443
家族会員	135	21	25	-4	130
合計	564	65	56	+9	573

2R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	450	68	37	+31	481
家族会員	147	12	25	-13	134
合計	597	80	62	+18	615

3R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	323	10	31	-21	302
家族会員	53	18	36	-18	35
合計	376	28	67	-39	337

4R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	330	25	30	-5	325
家族会員	52	9	9	0	52
合計	382	34	39	-5	377

5R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	406	31	37	-6	401
家族会員	80	13	19	-6	73
合計	486	44	56	-12	474

6R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	331	26	35	-9	323
家族会員	34	5	3	+2	35
合計	365	31	38	-7	358

全R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	2,269	204	201	+3	2,275
家族会員	501	78	117	-39	459
合計	2,770	282	318	-36	2,734

2017 期首からの会員動静

2016年7月～2017年6月

1R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	443	49	82	-33	410
家族会員	130	13	26	-13	117
合計	573	62	108	-46	527

2R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	481	59	51	+8	490
家族会員	134	4	11	-7	126
合計	615	63	62	+1	616

3R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	302	35	23	+12	314
家族会員	35	21	0	+21	56
合計	337	56	23	+33	370

4R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	325	25	30	-5	320
家族会員	52	8	5	+3	55
合計	377	33	35	-2	375

5R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	401	41	44	-3	398
家族会員	73	7	18	-11	62
合計	474	48	64	-14	460

6R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	323	14	25	-11	312
家族会員	35	13	3	+10	45
合計	358	27	28	-1	357

全R	期首	入会	退会	増減	期末
正会員	2,275	223	255	-32	2,244
家族会員	459	66	63	+3	461
合計	2,734	289	318	-29	2,705



331MD

会員増強アクションのお願い

- 331MD :: GMTコーディネーター L松浦則雄
- 331-A :: GMTコーディネーター L末神裕昭
- 331-B :: GMTコーディネーター L田村 裕
- 331-C :: GMTコーディネーター L渡部義男

国際協会は、新たな戦略計画として、2017年7月からGAT（グローバル・アクション・チーム）と銘打ち、全く新しいプロジェクトチームを構築して、2020年までに全世界で2億人の人々に奉仕を提供することを決定致しました。更にナレシユ・アガワル国際会長は、今期中に会員数を150万人に増員する一方で退会率を5%下げ、全世界で50万人のメンバーに研修を受けてもらいメンバーの質的（モチベーション）向上を促すとの国際会長方針を打ち出しました（当該記事は2017年10月号ライオン誌の中村国際理事記事より抜粋）。

GATチームの一翼を担う私たちGMT（グローバル・メンバー・チーム）の最大の使命は、複合ABC地区で会員を増強する事です。331MD（複合）地区のA・B・Cガバナーは、それぞれ下記に掲載した会員増強計画を、今期のアガワル国際会長に確約しました。各クラブの皆様方におかれましては、このガバナーの約束を実現し、ライオンズクラブの基本理念である、「我々は奉仕する（ウイザー）を推進成就するために、メンバーこそぞって「ライオンズ入会」の声掛けアクションを実践して頂きますようお願い致します。

GMT（グローバル・メンバー・チーム）は、これまで数回にわ

たる331複合地区のGMTコーディネーター会議を開催し、ABC地区の取り組み成功事例などの情報やノウハウの集積が続いています。今後は、ガバナー諮問会議やセミナーなどを通じて、これらを各クラブの皆様方に提供させて頂きながら、「会員増強」のお願いをする予定です。今年、ライオンズクラブ創立101年目を節目に、331地区で家族会員を含めてひとりでも多くの新入会員を勧誘していただき、皆様ご協力をお願いいたします。

※GAT（グローバルアクションチーム）は、会員増強等を目的としてGLT（グローバル・リーダーシップ・チーム）、GMT（グローバル・メンバーシップ・チーム）、GST（グローバル・サービスマン・チーム）、FWT（ファミリー&ウイメンチーム）で構成されています。

■各地区ガバナーが国際会長に約束した今年度331MD 会員増強計画

地区	目標あるいは見込値（クラブ数を除き単位は人）							
	年間増加 新会員数	年間退会 見込会員数	年間純増 会員数	新クラブ (会員数)	各4半期 純増会員数	期末家族 会員数	左記以外期末 正会員数	期末合計 会員数
	(1)	(2)	(3)=(1)-(2)		(3)/4	(4)	(5)	(6)=(4)+(5)
A	360	210	150	1 (20)	40	461	2705	2244
B	168	80	88	2 (40)	22	471	2650	2179
C	255	153	102	1 (20)	25	298	1852	1554
MD合計	783	443	340	4 (80)	87	1230	7207	5977

※ 今回のリジョン特集は、ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区第2R, 第6Rに関するものです。内容は、各Rに所属するライオンズクラブの『歴史と伝統』を語るものとなっております。

2R1Z

クラブ名	チャーターナイト	スポンサークラブ	現会長
札幌エルムLC	1960.6.25	札幌中央LC	L 木村明宏
札幌もいわLC	1968.9.24	札幌ポプラLC	L 丸尾正美
札幌まるやまLC	1977.10.20	札幌もいわLC	L 堀川政司
札幌大通LC	1991.3.14	札幌アカシヤLC	L 原子直樹
札幌南LC	1994.5.18	定山溪LC	L 小松直之
札幌すすきのLC	1995.4.28	札幌時計台LC	L 有田真人
札幌北の杜LC	2007.5.10	札幌エルムLC	L 山崎 巖

2R2Z

クラブ名	チャーターナイト	スポンサークラブ	現会長
札幌アカシヤLC	1961.6.2	札幌中央LC	L 横山 仁
札幌クラークLC	1975.4.16	札幌アカシヤLC	L 小野地勉
札幌時計台LC	1979.12.5	札幌クラークLC	L 佐藤伸昭
札幌パイオニアLC	1985.6.4	札幌時計台LC	L 菊地慎一
札幌羊ヶ丘LC	1987.6.12	札幌クラークLC・ 札幌アカシヤLC・札幌時計台LC	L 山田 稔
札幌グリーンLC	1995.6.19	札幌パイオニアLC	L 前田伏樹
札幌ノースLC	2003.10.1	札幌アカシヤLC	L 宮町晴伸
札幌わかばLC	2005.3.15	札幌羊ヶ丘LC	L 美馬 剛

6R1Z

クラブ名	チャーターナイト	スポンサークラブ	現会長
江別LC	1961.6.3	札幌LC	L 町村 均
当別LC	1963.5.12	札幌LC	L 白井應隆
石狩LC	1975.5.10	札幌LC	L 石山俊之
江別グリーンLC	1992.6.20	江別LC	L 津田頼明

6R2Z

クラブ名	チャーターナイト	スポンサークラブ	現会長
千歳LC	1962.8.26	札幌エルムLC	L 伊藤直人
恵庭LC	1965.6.13	千歳LC	L 三島幸三
北広島LC	1970.5.10	恵庭LC	L 竹村画二
千歳中央LC	1982.8.22	千歳LC	L 岡本眞一郎

札幌エルムライオンズクラブの歩み

2R1Z札幌エルムライオンズクラブ

PR委員長 L吉田 晃

札幌エルムライオンズクラブは、1959年札幌中央ライオンズクラブをスポンサークラブとして、全国で151番目、北海道で12番目、札幌市では3番目のクラブとして、11月8日に結成し、初代会長L飯室 進、幹事L田上義也、会計L多米 浩の3役で当時スポンサーで入れたメンバー26名とランスフアーチャーターメンバーが11名の計37名でスタートしました。

エルムというのは北海道を代表している木で、風雪に耐え、ダイナミックで力強く、なぜか暖かい。何事も許しているその姿は人を暖かく抱擁してくれる寛容な精神、抱擁力があり大きなもんだからいいのではないかと名前がついたそうです。

翌年6月25日チャーターナイト1周年で国際本部より認証状の伝達を受けました。CN周年記念事業として10周年に、中央警察署へ教育用交通安全指導車一式を寄贈。

15周年には、札幌市みかほ整肢園他7ヶ所に対し椅子を贈呈。また、北海道警察本部に対しオートバイを贈呈しました。20周年には、

梅67本、桜350本、記念碑を藻南公園に植樹・設置。25周年では、北海道アイバンクへパーソナルコンピュータと献眼登録システムを寄贈、里塚斎場にやすらぎの塔（音楽塔）建設。30周年には、LCIF献金600万円、札幌芸術の森へベンチ16基寄贈。35周年は、札幌芸術の森へ電子掲示板システム2基寄贈。40周年には、高知鷹城ライオンズクラブとの姉妹提携記念ACTとして高知の子供たちを札幌雪祭りへ



40周年記念ACT
中島公園内に香りを楽しむ「香りの広場」を造設

招待。中島公園内に香りを楽しむ「香りの広場」を造設。45周年は、日本ハムファイターズの協力により少年野球教室開催。50周年には、利尻・礼文・奥尻の少年野球チーム6団体を招待し、札幌ドームにて日ハムの野球観戦、野球教室、市内観光に招待しました。55周年は、日ハムコーチ、OBが講師となり中学硬式野球部員のための野球教室を開催。

当クラブは今年、結成58周年を迎えます。その58年間にエクステンション5クラブを出しており、1960年7月、砂川LC。1961年10月、千歳LC。1964年8月、札幌ライラックLC。1974年、定山溪LC2007



50周年記念ACT
利尻・礼文・奥尻の少年野球チーム6団体を招待し、札幌ドームにて日ハムの野球観戦

年3月、札幌北の杜LC。千歳では当時対抗意識の強かったロータリークラブ結成の話が持ち上がった様で、それに打ち勝ったところが大変うれしかったとの記録が残されていました。

また58年間で5名カバナーが出ております。1962年、L飯室 進。1971年、L田上義也。1983年、L小塩進作。1999年、L坂本 斉。2006年、L秋庭一富。今後さらなる躍進を、と思う次第です。

今年はL木村明宏会長の「志を高くエルムの伝統を継承する」スローガンもと、私たちメンバー全員で盛り上げ、次世代に継承していかねばならないと思えます。



55周年記念ACT 中学硬式野球部員のための野球教室

認証祝50周年を次年度に控え、ウイサーブの歴史について語る。

2R1Z札幌もいわライオンズクラブ

PR委員長 L清成 淳夫

当クラブが、来年認証祝50周年を迎えるにあたり、チャーターメンバーであります春野守夫ライオンにインタビュースし、50年に及び当クラブの歴史や思い出に残るアクティビティをご紹介いたします。

私もクラブは札幌で7番目のクラブとして、札幌ポブラLCの情熱溢れるご厚意によって1968年4月に発足しました。当時の入会には厳しい審査があり、人間的に立派である事、同業者同士の争いが無い事、社会に迷惑を掛けていない事、奉仕の気持ちで理解できる人等、様々な条件が設けられていたようです。従って、入会式は厳粛そのもので、そこに集った素晴らしい人道主義者お持ちの会員たちは、責任の重さを十分理解し、自ら望んで入会したという経緯がありました。認証式は、盛大に行われ、想い出に残る一日となりました。

陽に」で、「ミミズだつてオケラだつてアメンボだつてみんなみんな生きてるんだ友だちなんだ」という歌詞がとて印象的でした。

そして一日汽車の旅、これは親のいない子供を車両に乗せ、総勢約150名で札幌から苫小牧、俱知安、ニセコ、小樽そして札幌と様々な所を巡り、大変喜ばれました。このような大々的な行事を遂行するには、運輸省の認可を始め、事故のないよう殆どのメンバーが参加者に付き添う等、会員一人一人が大変な苦勞をしましたが、途中ニセコLCメンバーが駅に集って果物やお茶のサービス、お土産まで用意して頂き、小樽でもメンバーの皆様の計らいでこの上ないもてなしを受け、一生忘れられない一日となりました。

また、北海道神宮の敷地内に時間の許す限り千本桜を植樹し、これが継続アクティビティとして10年近く実行された事もいい思い出です。

想い出を書き出すと切りがありませんが、人道主義に基づくアクティビティを実施し続けた事こそが、一番の思い出として心に残っております。とのチャーターメンバーである春野ライオンのお話しを聴き、現在は、この精神を受け継ぎ、知的障害福祉協会とのボウリング大会や札幌大通地下街でのあらかるあーと展、

命の尊さをつなぐ「いのちの電話」や子供食堂のアクティビティを本年も実施する予定であります。

最後に来年は認証50周年を迎えますが、残念ながら物故会員が34名となり、悔やまれてなりません。経済成長長期に生まれ、今は反省と新たな地球規模的発想に基づき奉仕活動する事がベターであると認識し、ライオンズクラブ100周年の歴史を通過し、より良いクラブライフを楽しみながら、丸尾会長の信念であります会員を40人以上にする事が急務であると思いま



第4回の時の懐かしいスナップ



す。今こそ改めて、クラブ同士の団結、未来に向けてのアクトの在り様について打ち合わせし、意義ある50周年を迎えたいと考えております。



電気工事業

三共電気工業株式会社

代表取締役社長 L 萩本 哲夫 (札幌LC)

本社 〒060-0806
札幌市北6条西6丁目2番地
電話 011-716-5121 FAX 011-716-3573

<札幌ライオンズクラブ 広告>



電気保安法人
株式会社 道央テクノサービス

代表取締役 三島 幸三

〒061-1431 恵庭市有明町2丁目5-8
TEL (0123) 32-0280
FAX (0123) 32-0301

<恵庭ライオンズクラブ 広告>

総合印刷
恵庭協同印刷株式会社

代表取締役 吉田 茂

061-1443 恵庭市栄恵町39番地
TEL (0123) 32-2185
FAX (0123) 33-6179
E-mail: eniwakyoudou@gmail.com

<恵庭ライオンズクラブ 広告>

宮脇整形外科医院

院長 宮脇 寛海

〒061-1431 恵庭市有明町3-1-6
TEL (0123) 33-4026
FAX (0123) 32-5221

<恵庭ライオンズクラブ 広告>

saito printing



有限会社 齋藤印刷

代表取締役 齋藤 達也

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条4丁目1-31
☎(011) 631-4988 FAX (011) 631-4998

<札幌トラストライオンズクラブ 広告>



札幌トラストライオンズクラブ

会長スローガン 信頼と感謝のところでWe Serve

会長 L 京野 信博 幹事 L 桜井 貴史 会計 L 出羽 吉博

L 堂畑 時雄	L 出羽 吉博	L 晴山 徳貴	L 橋本 洋彰	L 池田 謙一	L 今村 尚司	L 井本 洋一
L 京野 信博	L 小西 慶孝	L 加藤 順也	L 黒澤 千秋	L 水木 弘輝	L 能澤 正明	L 中村 登
L 野澤 強	L 成田 靖大	L 中村 均	L 岡本 洋人	L 杉澤 慎彦	L 齋藤 達也	L 桜井 貴史
L 柴山 ひろこ	L 酒井 晋	L 仙庭 真司	L 坂地 俊信	L 坂本 丘	L 佐藤 渡	L 竹内 武司
L 番井 菊世	L 照沼 慶太	L 浮田 俊也	L 米山 昭	L 山田 裕之	L 山内 睦夫	L 山内 一志

事務局/札幌市中央区南3条西3丁目15 アルファ南3条ビル4F TEL(011)211-6156・FAX(011)211-6157 事務局員 伊東 晴美
E-mail: s-trust@muse.ocn.ne.jp. URL: http://e-clubhouse.org/sites/sapporotrust/

<札幌トラストライオンズクラブ 広告>

『雪像制作を通しての国際交流の継続 ACT』

2R1Z 札幌大通ライオンズクラブ

会計 L佐々木 俊幸

世界各国から来ている北海道大学留学生と北海道札幌稲雲高等学校の生徒さん、そして、私共クラブメンバー及びL原田さん社員の皆さんとの札幌雪まつり大通会場での市民雪像作りを、今年も2月上旬に計画している。

このACTは1992年よりスタートして来年で27回目、創立2年目より毎年開催してきている当クラブの継続ACTである。

留学生の中には雪が全く降らない国の方も多く、雪像制作を通じて留学生に、北海道の冬を体験して頂くとともに思い出づくりもして頂きたいとの願いから留学生と当クラブメンバーで始まり、その後、折角の機会であることから、高校生にも雪像づくりを通して国際交流をさせてはということ、12回目から今日の形となっている。

高校生は、留学生に積極的に話しかけたり、写真を撮ったり楽しく交流しながら、雪像づくりを楽しんでいる。

毎年どんな雪像を作るかは、その年の留学生の会長さんを努める方から案を提出して頂き、それに基きL原田さんのところでデプリカ(模型)を作成しての雪像制作となる。

当クラブの会員の(株)赤帽子の社員さん達の尽力と20名近くの留学生、稲雲高等学校美術部の生徒さん、札幌大通ライオンズクラブメンバーとの絶妙なチームワークにより毎年、素晴らしい出来栄えとなっている。

なお、過去に制作した雪像は、以下のとおりである。

☆雪像制作の歩み

1. 1992年 ライオンと像：ライオンズクラブ国際協会象徴のライオン
2. 1993年 少女と盲導犬：失明と闘うライオンズキャンペーンの一環として
3. 1994年 交通安全カメ像：交通安全セーフティドライブキャンペーンのマスケット
4. 1995年 子豚とおおかみ：交通安全キャンペーンポスターのキャラクター
5. 1996年 ライオンとねずみ：グループ名と干支にちなんで
6. 1997年 鶴ヶ城とライオン：郡山東ライオンズクラブの希望により
7. 1998年 盲導犬像：さあ、一步を踏み出そう 僕を信じて
8. 1999年 ハバナダ国際会長像：国際会長来札を記念して
9. 2000年 アービン国際会長像：国際会長来札を記念して
10. 2001年 Donor Card：臓器提供意思カード所持運動に呼応して
11. 2002年 平和と希望：平和の象徴ハトと地球
12. 2003年 クラーク博士と健全な心：クラーク像(この年から高校生も参加)
13. 2004年 砂漠の舟ラクダ：らくだは砂漠の舟と親しまれている(留学生の提案により)
14. 2005年 装飾像と寺院：ミャンマーの有名な建物と寺院(留学生代表ミャンマー出身)
15. 2006年 ペンギンとサンピエトロ寺院：ニュージールランドの伝統的建物とペンギン
16. 2007年 ガネーシヤ「歓喜天」：インド文学の神様(留学生代表インド出身)
17. 2008年 タージマハール：インドの世界遺産
18. 2009年 カンフーパンダ：2008年7月カンフーパンダ映画化
19. 2010年 ライオンと虎：虎は韓国では山の神(留学生代表韓国出身)
20. 2011年 ドラキュラ：ドラキュラの出身はルーマニア(留学生代表ルーマニア出身)
21. 2012年 チェブラーシカとわにさん：ロシア生まれのキャラクター(留学生代表ロシア出身)
22. 2013年 セルビアの伝統的なプラスチックバンドとカレメグダン城址(留学生代表セルビア出身)
23. 2014年 ボブ・マリー(留学生代表ジャマイカ出身)
24. 2015年 乙女の塔と民族衣装(留学生代表アゼルバイジャン出身)
25. 2016年 ヘイダル・アリエフセンターとアゼルバイジャン人(留学生代表アゼルバイジャン出身)
26. 2017年 インドのタージマハールとマハトマガンディー(留学生代表インド出身)



税理士法人 アカシヤ総合事務所

所長 佐々木俊幸
税理士

事務所 〒001-0023
札幌市北区北23条西4丁目2-1
ターミナルハイツ24-308号
TEL(011)756-5850 FAX(011)756-5856

株式会社 山上カミヤマビル

代表取締役 岩波 剛

事務所 〒060-0003
札幌市中央区北3条西2丁目1番地
TEL(011)251-5511 FAX(011)221-1211

「我がクラブの主たる歴史」

2R1Z 札幌南ライオンズクラブ

第一副会長 L麻野 幸男

札幌南LCは定山溪LCのCN20周年記念事業としてエクステンションされ1994年5月18日(H6)国際協会より認証状の伝達を受けて誕生し、はや24年目を迎えております。誕生当初はライオンズクラブの目的、道徳綱領、各種要領等々よく理解しないまま年月が過ぎ、あつという間にCN5周年目を迎えました。この間①1995年5月27日に「全国南LC友好会」に当時の鈴木会長からお誘いを受け岡山大会時に加盟認証を受けました。本友好会は標準会則2条のa f項の真の実践を目的としており年1回大会を開催し交流を深めております。②1996年

5月17日に鹿児島南LCから、日本の北と南の交流を図りたいという事で姉妹盟約の申し出を受け締結し以来双方の行事にお互いに参加しライオニズムの高揚に努めております。

また、YE生のホームステイ、来札は春休みの3月でスキーを中心に修学を楽しんでいます。③1998年1月4日、4年目にして「在札36LC合同新年交礼

会」の当番クラブとなり緊張の中実施しましたが終了と同時にホッとした気持ちも今でも思い出されます。④1999年5月18日にCN5周年記念式典、祝賀会開催記念事業として「札幌藤野東公園」に園名碑贈呈。⑤1999年6月19日「第22回全国南LC友好会」札幌大会のホスト役で全国から526名の参加を得て盛大に実施。来賓として当時の堀知事、桂市長、定岡ガバナーはじめキャビネット役員に華を添えて頂きました。当クラブは創立5年にして上記5つの大きな事業を経験した事が成長の一助となっております。

我がクラブは地域密着の We・Sarve をモットーに、結成当時から「交通安全街頭啓発」「献血運動」の継続。CN10周年の記念事業として南区役所の前庭に「太陽電池時計塔」の寄贈。同時にFu'sスキー場に「屋外壁時計」。CN15周年記念事業として南区全小学校に対し「図書券」寄贈。CN20周年の記念事業として「小金湯さくらの森」に案内板を寄贈。その他「むくどりふれあいの会」「札幌育兒園」「みなみハミングフェスタ和太鼓祭り」「藤野ふるさと祭り」等に助成金の贈呈を継続しています。又、昨年「南区少年軟式野球連盟」に対しオールスター対抗マラソン大会に優勝旗が無い事から贈呈しました。以上、思いついたまま当クラブの思い出に残っていることを記述致しましたが今後とも今までの経験を生かし、微力ながら We・Sarve の精神に則つとり精進していく所存であります。



全国南 LC 友好会加盟



姉妹盟約



鹿児島南 LC YE 生とのスキー



ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区 2R1Z

札幌南ライオンズクラブ

【楽しい例会 ウィ・サーブの継続】

24代会長	L小松 直之
幹事	L長谷川亮平
会計	L若杉 正
PR委員長	L岩崎 道郎

<札幌南ライオンズクラブ 広告>

2R1Z 札幌すすきのライオンズクラブ

当クラブは、1995年1月に結成され、再来年でCN25周年を迎えます。会員は、家族会員を含め28人(10月1日現在)で、平均年齢53歳と若いのが当クラブの特徴であります。また、チャーターメンバーは5人在籍しており、クラブ設立当時の出来事やその後クラブが歩んで来た経緯を直接聞いて学ぶことができます。

当クラブのアクティビティは、札幌市長旗少年少女柔道交歓大会(平成12年から継続)の主催、知的障害者施設「草笛館」の利用者との交流(平成15年から継続)の他、最近は献血活動に力を入れており、北海道赤十字社の方を例会に招待しご講演頂いたり、北海道トラックターミナルで年に2回献血を呼びかけたりしております。その他、すすきのの南方を流れる「鴨々川」の清掃活動に毎年参加しております。

通常例会は、すすきのにある東急REIホテルで行われており、毎回異なる料理に舌鼓を打ちながら、講師の方をお招きしたり、全員参加型のゲームをしたりして、有意義な時間を過ごしています。その他、暑中旅行会(日帰り)やクリスマス家族例会には、会員の子供達が多く参加し、

毎年盛り上がっています。

姉妹交流クラブである「吹田江坂LC」とは、14年前から交流が始まって以降、ほぼ毎年お互いの会員が訪問例会をしており、花見や観光、ゴルフ、(酒場)などで親交を深めています。

当クラブの事務局は、すすきののマンション一室にあり、理事会が終わった後は、そのまま事務局に残って酒を酌み交わす会員が多く、より良いクラブ運営には欠かせない慣例



鴨々川清掃活動



中島公園花壇植栽



札幌市長旗少年少女柔道交歓大会



クリスマス家族会



収穫祭

行事となっております。最近では、CN25周年に向けての議論が徐々に増えてつあり、クラブの歴史に新たな1ページが刻まれるよう、現会長のスローガンである「KEEP GOING FORWARD」を意識しながら、会員一同、一致団結して精進していく所存です。

札幌すすきのライオンズクラブ

2017-2018年度 会長スローガン

「KEEP GOING FORWARD」

【会長】L有田 真人 【幹事】L青池 聡 【会計】L佐藤 智士
 【PR委員長】L竹内 準 【ライオンテーマー】L一文字 恵美 【テールツイスター】L稱木 亮一

〒064-0808 札幌市中央区南8条西3丁目6-1 シティーマンション五十嵐 501

TEL 011-530-3355 FAX 011-530-3388

メール info@susukino-lc.jp HP http://susukino-lc.jp/

2R 1Z 札幌北の杜ライオンズクラブ

札幌北の杜ライオンズクラブは、2007年3月27日に札幌エルムライオンズクラブ様のスポンサーにより結成式を開催して頂き、同年5月10日に認証状伝達記念式典が挙行され、チャーターメンバー43名、地区で82番目のクラブ誕生となりました。

「札幌北の杜ライオンズクラブ」の名には、次のような願いがこめられています。

山々に天然の樹木が育つ「森」に対して、「杜」は人々が生活をするに当たり自然環境や社会生活を考慮した癒しの場である。その「杜」には皆が集う。そんな「杜」で、皆が集い、限らない未来に向かって共に歩み続けたいという願いです。この願い込めて、「奉仕の心をあつめて、地道に、たゆまぬアクティビティ」という初代会長のスローガンからスタートしました。

クラブとして目標だった7年目(2013-2014)にL小野寺ガバナリーを擁立し、331-A地区の皆様にご支援、ご協力を頂き、キャビネットホストクラブとして1年間、務めさせて頂きました。

現在11年目に至るまで、更なる新しい目標を持って皆が集い共に歩み続けている最中です。

さて、当クラブの特徴は、次のことが挙げられます。

1つ目は、全国的にも無いと思います。3つの支部を結成している事です。そのうちの1つは正クラブとして札幌アス



リートライオンズクラブ(札幌フットサル支部)をエクステンションしたことです。2011年12月に「札幌フットサル支部」、2013年7月に「札幌リハビリ支部」、2017年4月に「札幌デフ・サポート支部」を結成しています。「札幌フットサル支部」については、2014年に1R2Z札幌中島ライオンズクラブ様にスポンサーになって頂き「札幌アスリートライオンズクラブ」をエクステンションしました。

「札幌フットサル支部」は、障がい者や小、中学生を対象としフットサルクリニック、フットサル大会開催などの活動、「札幌リハビリ支部」は、メンバーの職務を生かし高齢者や地域の方を対象とし健康の講演活動やフットサル大会時の選手に対して救護活動など、「札幌デフ・サポート支部」は、ろう者(聴覚障がい者で英語で deaf)の聞こえないことで生じる様々な問題に取り組むことを対象とし、手話やろう者への理解を社会へ啓蒙しサポートする活動をおこなっています。

2つ目は、青少年及び障



がい者を含めてスポーツ支援に目を向けています。

フットサルクリニック(教室)、フットサル大会開催、ブライントサッカ大会、肢体不自由者ポッチャ選手権大会、障がい者フライングディスク大会などへの支援金及び運営の労力をメインとした支援をさせて頂いています。

3つ目としては、障がい者の方々と交流として大自然の中で焼肉を振舞う「梅の杜収穫祭」も毎年開催しております。

最後に、北の杜ライオンズクラブは正会員・家族会員・支部会員で約100名以上の会員が在籍していることにより、アクティビティの参加人数が多いということです。同じ北の杜ライオンズクラブメンバーとして、分け隔てなくアクティビティで集い共に歩み続けるクラブになつてきています。

当クラブは、今後も、会員皆で集い共に歩み、社会奉仕に貢献するアクティビティを行っていき思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

331-A 地区第 2R 第 1Z 札幌北の杜ライオンズクラブ

2017-2018 スローガン
「支部との連携を深め奉仕活動の相乗効果を！」

- 【会 長】L山崎 巖 【会 計】L佐々木定光
- 【幹 事】L竹田 章仁 【PR委員長】L行川 正宏



『我がクラブの歴史とアクティビティ』

2R2Z 札幌アカシヤライオンズクラブ

PR・IT情報委員長 L氷室 信康

札幌アカシヤライオンズクラブは1960年12月15日に札幌中央ライオンズクラブよりエクステンション、札幌に4番目のライオンズクラブとして結成されており、今期57周年を迎えます。ライオンズの主要アクティビティとしては1962年11月に札幌ポプラライオンズクラブ、1975年1月に札幌クラークライオンズクラブ、1991年3月に札幌大通ライオンズクラブ、2003年6月に札幌ノースライオンズクラブをエクステンションしております。

振り返りますと1963年74年頃までは無医村への臨時診療所開設時の医師派遣を行ったり、1980年代にはサケの稚魚放流、幾度かに渡る盲導犬協会へ設備品の贈呈並びに助成も行いました。2000年CN40周年記念アクティビティとして大倉山ジャンプ競技場展望ブリッジに札幌市内展望のための案内板2面『展望パノラマサイン』を贈呈。中島公園、大通公園、旭山記念公園、新琴似グリーン公園、エルムの森公園、有珠山噴火口近隣、茨戸川緑地への植樹アクティビティ。特に新琴似グリーン公園への書家・小川東洲氏揮毫の記念碑△時△建立、エルムの森公園への記念碑△桜道△建立は



慈母観音供養祭、観音像前で

植樹を含め1千数百万円にも及ぶ奉仕活動となりました。

また、1978年『北海道交通遺児の会』へ札幌霊堂に建立した『慈母観音像』を贈呈。以来継続して『北海道交通遺児の会』の皆様と毎年供養祭を実施しております。その他にも、北海道札幌視覚支援学校との交流と支援、ドナルド・マクドナルド・ハウスさつぽろへの除雪と備品支援、古切手・使用済み各種カード・書損じ葉書の収集活動、などを現在行っ



1965年9月バンクーバーバラードICとの姉妹友好調印式。バラードICパートン会長とアカシヤIC会長L中山大五郎

ております。

1965年にはカナダ・バンクーバーバラードライオンズクラブと姉妹クラブ盟約を締結しており、それから52年間今も変わらずお互いのクラブ訪問など友好関係を保ち続けております。国内では1996年CN35周年記念ACTとして鹿児島南洲LCと姉妹クラブ盟約締結。その後2011年CN50周年の節目に福岡博多中LCと友好クラブを締結致しました。

今期はL横山会長の『絆ふたたび、広げよう仲間の和!』のスローガンを掲げ、当クラブ60周年に向けて会員増強にも取り組み、明るく絆を更に深め合えるクラブ運営を目指したいと思います。

札幌アカシヤ ライオンズクラブ

会長スローガン
絆ふたたび、広げよう仲間の和!

【会長】 L横山 仁	【会計】 L京極 琢弥
【幹事】 L荒谷 治	【PR委員長】 L氷室 信康

〒064-0804
札幌市中央区南4条西3丁目北星ビル5階
TEL(011)221-0331 FAX(011)221-3789
e-mail : info@acacia-lc.com
HP : http://www.acacia-lc.com/



2017年9月バンクーバーバラードLC80周年記念式典に訪問

2R2Z札幌クラークライオンズクラブ

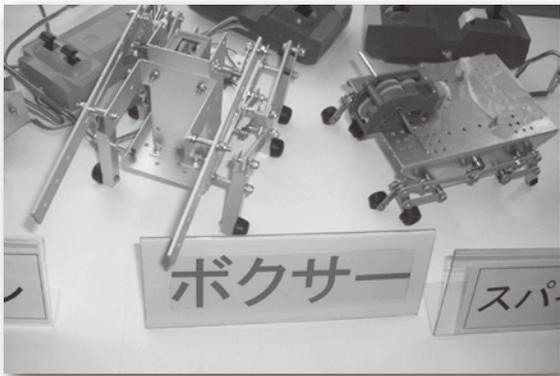
当クラブの紹介：

1975年4月16日、札幌アカシアライオンズクラブをスポンサーとして札幌では11番目のクラブとして誕生いたしました。今では会員数は24名ですが、43年の歴史のうちで我々が誇りとしていることは、1994年松原文彌国際理事を輩出し、2010年には331-A地区ガバナー、山口富雄を輩出するなどライオンズクラブの発展のため、クラブ内では会員同士の絆を大切にして奉仕活動を力強く継続しております。

特徴としては、昨今特に目立つことですが、会員も徐々に高齢化が進み、会員数も減少する中、若い会員を中心に新入会員の入会が目立つことです。入会後は会員全体で温かく指導していきたいものです。

過去の思い出のアクティビティは、結成30年の記念に当クラブの名前との縁を感じ、札幌の観光名所「羊ヶ丘展望台」のクラーク博士の立像の隣に銅板に日本語と英語で書き込まれたクラーク博士の説明碑文を札幌観光協会へ寄贈いたしました。この記念碑は、我々の活動が日本の観光客は元より増加する外国の観光客にも大きくアピールしていることでしょう。

その他小学生を対象に豊平川の環境保全を目的として、30年活動をしてきた「豊平川サケの稚魚放流ACT」もすでに目的を果たしたことで終了しております。結成35周年には高校生の「ロボットセミナー」への抛出金も価値あるアクティビティとして残っています。



ロボットセミナー



クラーク博士の説明碑文

今期アクティビティは：

継続のアクティビティで今期の一つには、野菜の作付けから収穫までを体験し作る苦勞と収穫の満足を実感してくれることを願って、興正学園生を対象とした「種まき（春）・収穫（秋）祭」を行っております。

更には「札幌肢体不自由児者父母の会」ご両親ご家族をジャスマックホテルにお招きし、「札幌鮭研究会」のご協力や多くのライオンレディの細やかな心の通うお手伝いを頂き、ご自分の目の前で握られたお寿司をテーブルに、そのまま召し上がって頂き、好評を得て本年9月24日実施で28年になります。

これからも会長スローガンの「熱く、厚く、篤く We Serve」を叫び、会員自らの心に残る活動をしてまいります。



札幌鮭研究会 集合写真

2R2Z札幌パイオニアライオンズクラブ

し 田嶋 端

札幌パイオニアライオンズクラブは、1985年札幌時計台ライオンズクラブのスポンサーにより、331-A地区第55番目のクラブとして産声をあげました。各ライオン一人一人が、夢と希望と情熱を胸に、開拓者スピリットを掲げ、新生クラブに託しました。

人の話によつては、ライオンズクラブは例えると大人の幼稚園。色々教わりながら、団体の中で切磋琢磨し成長していく事が理想のライオン、ライオンレディだよと言われた方もおります。

年を重ねるごとに、クラブ自体が紆余曲折し、子供が成長すると互いに意見を主張し合い、対立へと発展して行きます。我々クラブも御承知の通り色々な出来事がありました。多分、皆様のクラブでも大なり小なりあった事と存じます。

その理由としては、新会員が多くなるにつれて、クラブ結成時のスピリットから少しずつ考え方がブレて行くのが現実です。

我々クラブでは、意見の食い違いから、対立、会員の減少へと過去にはクラブ存続し続ける事すら出来ない位厳しい時期もありました。

然し、会員一人一人がこのままではいけない、もう一度心を一つに頑張ろうという意識が働き、同じ会費を払うのだから、皆平等、役員はさせてあげるのでなく、1年間やって頂いているのだから、皆で助け合ひましょう。この考え方で現在満33歳となりました。会員の平均年齢は、53.2歳と第2R第2Zで2番目です。

思い出のアクティビティは、CN25周年の時に、青少年の健全育成「青少年に夢と希望と感動を！」をテーマとして、札幌ドーム内野席20席のシーズンシートを購入し、札幌市少年軟式野球連盟に加盟しているチームの少年野球球児達を日替わりで、日本ハムファイターズ戦(50試合)に招待しました。毎回引率者として担当ライオン2名ずつ決め、児童は黄色のゼッケンを着用、

観戦ルールを説明し、規律正しく観戦して頂きました。少年達は何を想い何を夢見た事でしょう。

きっと子供達の心のどこかに、私達ライオンズクラブのことが刻み込まれている事と思います。そして、将来私達の札幌パイオニアライオンズクラブに入会される事を夢見て筆を置きます。



結成式



CN25周年記念ACT



パイオニアの森 (モエレ沼公園)

ライオンズらしく、羊ヶ丘らしく

2R2Z 札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ
CN30周年記念ACT実行委員長 L照沼 司

ライオンズクラブ国際協会が100周年を迎え、発祥の地アメリカ、イリノイ州シカゴにおいて盛大かつ感動的な式典が行われた一方で、私ども札幌羊ヶ丘ライオンズクラブは30周年を迎えました。30年と言われる月日は当初、到達点と思われる遙か彼方でしたが、今ここに辿り着いてみると、単なる通過点に過ぎないのではないかとの思いでおります。

「ライオンズらしく、羊ヶ丘らしく」結成以来の伝統ある精神土壌に基づき、30周年を意識した特別のACT事業は行わず、継続ACTの充実を目指し、年間活動しました。

子供たちの未来に資する活動に着目し、養護施設への支援と少年野球大会を応援、命を守るため、私たちが出来る事としてAED研修および献血の呼びかけ、視聴覚障がい者の目となる盲導犬の育成事業の助成。

以上の各アクティビティに、札幌羊ヶ丘ライオンズクラブとしての精神が込められながら企画がなされ、かつ実行されてきたのです。

これまで行われてきた奉仕やクラブの伝統を尊重しつつ、変化する私たちの世界に対応しながら、「ウィ・サーブ」のスローガンのもと、31年目への新たな一歩を力強く踏み出そうと思えます。



札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

会長スローガン

広げよう！ 奉仕と仲間

【会長】 L山田 稔
【幹事】 L堀岡 咲枝

【会計】 L鎌田 徳一
【PR委員長】 L金木 義昭

札幌グリーンライオンズクラブ創立25周年に向けて

2R2Z札幌グリーンライオンズクラブ

PR委員 L樋口 信弘

札幌グリーンライオンズクラブは、1995年3月16日の結成式を経て、1995年6月19日札幌パイオニアライオンズクラブのスポンサーによりチャーターナイトを執り行い、今年で23年を迎えました。

我がクラブは、結成当初より一貫して「緑を愛し、地球環境を大切に」をモットーに、環境保護と青少年育成を主眼としたアクティビティを展開して参りました。思い起こせば、「創成川クリーンアップ」や「白旗山水芭蕉池の除草」から始まり、「大倉山の桜植樹」「中島公園樹名板設置」「千島桜保存・植樹」等の自然環境保護のアク

ト、結成2年目より継続している「青少年意見発表大会」や「こどもの声発表大会」「森の教室」等の青少年育成のアクトを、今日までぶれることなく愚直に継続してきた自負を持っております。

また、全国の「グリー

ン」の名を冠するクラブの連携組織「グリーン盟友クラブ」に積極的に参画、日本中の多くの奉仕の仲間と交流し切磋琢磨してきました。

そんな我がクラブも東京オリンピックの年、2020年6月に創立25周年を迎えます。我々現メンバーは、多くの先輩Lの不断の努力と強い意思、そして寛容の心によって築かれたその歴史を次世代に継承するという大切な役割を担っています。

ライオンズを取り巻く環境の厳しさは続いておりますが、我々は自身の役割をしっかりと自覚し、会長L前田伏樹「豊かな心で、奉仕活動を」のスローガンのもと、力を結集して奉仕活動に取り組み、チャーターナイ25周年への道程を確かなものにして参ります。

これからも、皆様ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



中島公園樹銘板 ACT



- トランスファーマンメンバー
- L 山本弘詔
- L 山崎健作
- L 比護了造
- L 浅水 正
- L 高野倫之
- L 竹内信也
- チャーターメンバー
- L 山田一男

札幌グリーンライオンズクラブ

基本方針「緑を愛し、地球環境を大切に」
会長スローガン「豊かな心で、奉仕活動を」

会長 L前田 伏樹 幹事 L竹内 信也 会計 L忠海 健三

事務局 〒064-0804 札幌市中央区南4条西3丁目北星ビル5F
TEL(011)221-0331 FAX(011)221-3789
<http://www.sapporogreen-lc.jp/>

「札幌ノースライオンズクラブ結成から今日まで」

2R2Z札幌ノースライオンズクラブ

皆様方のご支援、ご指導を得て、15周年を迎える事が出来ました。顧みますと、札幌ノースライオンズクラブは、2002年度L岩井淳佳地区ガバナーの新クラブ結成に対する熱意とご要望にお応えし、札幌アカシヤライオンズクラブのスポンサーにより、設立いたしました。チャーターメンバーは34名、複合では242番目、地区で76番目、在札では39番目のクラブとして2003年6月24日に結成式を執り行いました。

設立当手を振り返ると、チャーターメンバーの人選、例会場の確保、必要用品の手配等、様々な困難がございました。幾度となく集会を開催し討議を重ねました。当時の岩井地区ガバナー、故宮本キャビネット幹事、故室キャビネット会計、次年度にガバナーになられたL杉本忠夫元国際理事、等多くの方々にもご尽力いただきました。感謝しております。

私ども札幌ノースライオンズクラブは、青少年の健全育成に特化することを基本に、皆様のご協力



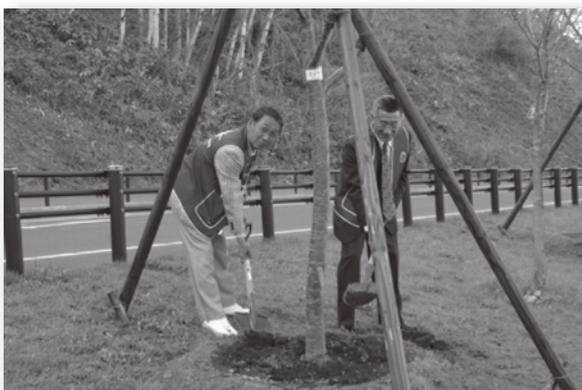
のもと事業を進めております。子供たちの参加を第一とする「北海道すこやかマラソン大会」、競技を通じ子供たちの交流、親睦、さらには競技の普及振興を目的とする「少年アイスホッケー大会」、養護施設の子供たちへの支援を長年続けている「七五三アクティビティ」など、子供たちの未来に少しでも光を灯せればという思いで事業を



少年アイスホッケー大会

行なっています。

又、私ども札幌ノースライオンズクラブは、社会が必要とし、或いは求めている事に対し、友愛と奉仕の心を持って、社会参加の奉仕活動を目指し、今日に至っております。歴代会長を中心にメンバーが一丸となり、少人数ながら、知恵を出し合い、活気のある奉仕活動にしようと努力して参りました。2004年度から続く「大倉山ジャンプ



大倉山ジャンプ競技場植樹

競技場」へのエゾヤマ桜、ラベンダー苗木の植樹は札幌市の観光文化の振興に寄与する正に我々が目指してきたアクティビティでございます。

この度のチャーターナイト15周年記念式典中止にあたり、ご意見、ご質問、お叱りをいただきました。が、前述の通り、その力を奉仕活動に一層注ぎたいとの会員の創意をもって決定いたしました。

今後とも新しい発想のもと、20年30年と未来につながるクラブであり続けます。何卒よろしくお願い申し上げます。

江別ライオンズクラブのいま

6R1Z江別ライオンズクラブ

江別ライオンズクラブは、スポーツサークルである札幌ライオンズクラブのご指導のもと、チャーターメンバー24名により1959年2月24日に結成されました。再来年には60周年を迎える、伝統あるクラブです。私事ではありませんが、祖父がチャーターメンバーで、翌年1960年5月に挙行したチャーターナイトでは、町村農場の広い庭で式典が行われたと記録が残っています。当時の緑あふれる牧場で行われるチャーターナイトとは、いかにも当時ののどかな江別らしさが伝わるエピソードです。

現在の我がクラブのアクトをご紹介いたします。年間で最大の事業としては、毎年夏に行う、「青少年育成チャリティサマーフェスティバル」があります。この事業は、本年度7年目を迎えています。江別市教育委員会と連携し、青少年の健全なる成長、体力づくりへの一助として、各種屋外行事で使用される大型テントを寄贈し続けています。教育委員会からも大変高

く評価していただいております。事業内容は、市内ホールを借りて、前売り券方式の一般市民参加型のパーティーを開催します。会員の協力で、飲食物の提供や物販をし、ステージアトラクションを展開します。この売上の収益がテント購入費用に充てられます。

また、江別ライオンズクラブと言えば、献血。日本赤十字社と協力し、市内各所で行われる献血カー出動のキャンペーンで、協力者の呼び込みや声掛けを、朝早くから行っています。さらに、緑化事業も毎年継続しております。前期は、学校統合により閉校となる小学校の子供たちと、統合先の子供たちと一緒に、友情の証となる記念植樹を校庭で行いました。

今後も、江別ライオンズクラブは、江別の町にとってなくてはならない社会奉仕団体として、熱意をもって活動を続けていきたいと思っております。会員増強では、非常に厳しい社会環境と言えますが、我々の活動が市民に伝わり、仲間が増える力となることを信じています。



MACHIMURA FARM
100th
Anniversary

「人」と「牛」と「大地」と
共に歩んだ100年。

町村農場
MACHIMURA FARM

https://machimura.jp

<江別ライオンズクラブ 広告>

6R1Z当別ライオンズクラブ

当別ライオンズクラブは1962年8月7日札幌ライオンズクラブのスポンサーによりチャーターメンバー22名、初代会長にL浜崎喜久松のもと国内では456番目、地区においては18番目のクラブとして設立し、本年L白井應隆会長の「みんなでやるべし！」のスローガンを掲げ55周年を迎えることが出来ました。9月30日にはCN55周年記念例会を会員49名100%出席例会という快挙の中、町内のご来賓各位、ライオンズクラブ国際協会

331-A地区役員の皆様、更には6リジョン内のブラザークラブの会長・役員の皆様、そして、姉妹提携クラブ、東京愛宕山ライオンズクラブ会長・役員の皆様、伊達ライオンズクラブ会長をはじめとしますメンバーの皆様、更にはスポンサークラブである札幌ライオンズクラブ会長・役員の皆様

のご臨席を賜り盛会に開催することが出来ました。これまでの歴史を築いてこられた諸先輩の功績に感謝の一言です。



本年、55周年記念事業としては、「道徳特別授業」を開催し、本授業を通じて、児童生徒、さらに地域が一体となつて、いじめ、自殺防止について考え、「いじめ、自殺防止標語作成」に取り組み、はじめ、自殺防止について訴えました。また、将来有用な人材育成に寄与する為に「当別町への奨学金寄贈」を行いました。

当別ライオンズクラブの一番歴史が長い継続事業は、今年度で47回目数を数える「当別町新春子どもカルタ大会」があります。現在もチャーターメンバーであるL近藤和夫、L山田岩雄が元気に活動されており、初心を忘れることなく、伝統の重さをしっかりと自覚しなければならぬと感じながら、これからも我々当別ライオンズクラブメンバーを導いていただきたく思っております。

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区第6R 第1Z

当別ライオンズクラブ

会長：L白井 應隆 幹事：L佐々木 成尉 会計：L山田 豊 PR委員長：L浅野 政輝

会長スローガン 『みんなでやるべし!』

会員(50音順)

L浅野 政輝	L安藤 英司	L安藤 頼孝	L市川 正	L稲村 勝俊	L牛田 洋紀	L大塚 利明	L岡野喜代治	L門脇 良二	L鹿野 信一
L川原 博志	L木下 裕	L木村 真一	L後藤 正洋	L小林 泰雄	L近藤 和夫	L近藤 進	L齋藤はづき	L佐々木成尉	L下段 聡
L白井 應隆	L新森 敏幸	L新森 道博	L瀬戸 英規	L高橋 敏史	L高橋 昭大	L高橋 昌二	L豊島 健蔵	L並川 憲多	L並川 晃治
L西田 豊士	L橋本 俊一	L長谷川 敏	L藤本 典克	L堀川 和雄	L本庄 幸賢	L前澤 昭治	L松岡 良尚	L三橋 修一	L三船 勝也
L宮永 雅己	L山内 孝司	L山内 秀晃	L山崎 公司	L山下 博正	L山田 明	L山田 岩雄	L山田 豊	L米陀 和成	

おかげさまでCN55周年記念例会を100%出席で迎える事が出来ました。今後とも宜しくお願い致します。

6R1Z 江別グリーンライオンズクラブ

PR委員長 L湯藤 学

当クラブは1992年4月14日に全国3047番目、北海道内では222番目に結成したクラブです。

結成当初は会員数67人でスタートしておりますが、時代とともに少子高齢化の波にのまれ現在では33人まで減少している現状です。

しかしながら、当クラブは少人数ではありますが会員同士結束し、多様なアクティビティーに取り組んでいます。

地域貢献はもとより、各イベントでの献血活動、例年恒例行事となっているチャリティーワイン&音楽の夕べ（小中学校への図書贈呈・盲導犬協会の支援活動のため開催）等、目的を持った活動を行っています。

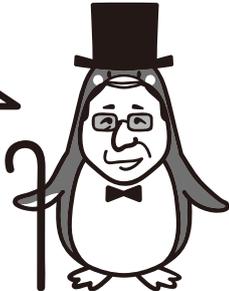
今期は第27代会長としてL津田頼明が就任し「アイデアと行動力で社会に尽

くそう！」をテーマに1年間活動します。

また、会員同士語り合いクラブ会員であることを喜びと感じることができるよう団結し地域が望む価値のある奉仕活動を実行してまいります。

2017・2018L能澤正明ガバナテーマは「温故知新」でありますので、江別グリーンライオンズ会員も当クラブの歴史を理解しこれからのクラブ発展へメンバー一同努力していきます。

結束を強めて
更に前進！！



キラキラコンサートのアクティビティーターと大切さについて

6R2Z千歳ライオンズクラブ

千歳ライオンズクラブのアクティビティーターにおいて、復興の森づくり少年サッカー大会、青少年育成の食育活動、献血活動、千歳市内の学校での薬物乱用防止教室などありますが、中でも今年で55周年を迎える千歳ライオンズクラブの中ではまだまだ17年目ではありますが、千歳ライオンズクラブの特徴的かつ毎年感動を与え続けている「アクティビティーターは「キラキラコンサート」と言えると思います。

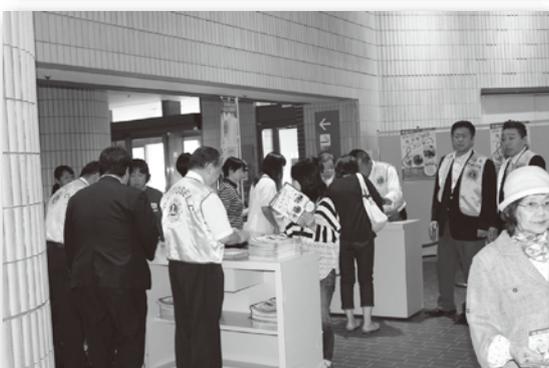
キラキラコンサート第1回目は2001年に行われ、名前の由来は17年前に、北栄小学校の卒業記念誌を読ませて頂いた際に、一人の六年生の生徒の文章が目にとまり、感動し、感激したことが由来だそうです。その言葉とは「キラキラ輝く楽器をもう一度手にしてもう一度演奏してみたかった」という文面でした。『よし、千歳ライオンズクラブが少しでも生徒の思いに全力で応援していこう』

と決意して始めたのがきっかけだそうです。今でこそ大分工夫してコンサートを進行していく事が出来るようになりましたが、当時は前日に各学校の機材を学校から会場までの搬入や演奏時の楽器のセッティング、進行等を全て当クラブでやっていたらしく、もの凄い大変な努力だったのだらうと驚かれます。そしてキラキラコンサートでの収益金は全額、各学校のクラブ

活動などの運営費や楽器等の修繕費に賄われます。

代々築いてきた礎に伝えるため、生徒たちやコンサートを観に来ていただいた父兄やお客様の期待を裏切らないように先輩ライオンやまだ入会したばかりのライオンが一つになり無事に円滑に進めていくこのキラキラコンサートこそが、まさに We Serve (我々は奉仕する) をモットーにしている2017年度会長L伊藤直人のスローガン・「未来につながる奉仕と感動」に則ったアクティビティーターであると言えます。いつまでも目標を持つことが

大切な世代の若者の一つのきっかけになるために、この先もずっと続けられるように千歳ライオンズクラブはキラキラコンサートをやり続けていく事を大切にしていきたいと思っています。



地域への奉仕

6R2Z 恵庭ライオンズクラブ

指導力育成委員長 鶴田 力

地域貢献と絆で構築された恵庭ライオンズクラブ（第54代三島幸三会長／91人（含む終身・家族会員））は、1964年1月19日の結成、以来53年が経過した。結成時の認証が遅れたのか、チャーター・ナイトは、一年半後の1965年6月13日大勢の市民に囲まれ開催された。

当クラブは、長きにわたり地域に役立つ物品並びに資金を積極的に寄贈提供してきた。6リジョン唯一のガバナー輩出クラブとして責任ある事業を継続、まちづくり大きく貢献し、市民に感謝されている。運営面においては、時代を先取りしたローカル・ルールを制定、会員同士の絆を深める他、会員拡大に大きく役立てていることが特徴だ。

結成以来、まちづくりの一助として交通安全運動や防犯対策用の自動車をそれぞれの団体へ寄贈の他、駅前時計塔や国道の歓迎塔など、5年毎の高額な物品や桜の植樹、はなの町公園の造園など、多種多様な記念アクティビティを行い市民から喜ばれている。

この半世紀に、青少年育成事業として「レオクラブ」（1974年）を結成させ、30年以上にわたり育成支援活動を行ってきた。この他、北海道独自の「下の句かるた」を青少年育成事業に取り入れ、北海道こどもかるた大会へ駒を進めることができた。

現在も毎年続けている事業に、U10少年軟式野球大会、今年の第23回大会も道内各地から21チーム260人の選手と保護者

を含め500人以上が参加、9月9日から23日までの長期の戦いが実施された。また、薬物乱用防止教室の開催（延6千4百人が受講）、親子サイクリングのつどい、恵庭市と姉妹提携都市ニュージージーランド・ティマル市へ交換留学生の派遣（延16人留学）、恵庭岳太鼓保存会に支援、その他の奉仕を行い地域発展に大きく貢献していると自負している。

運営面で、会長・幹事・会計の三役経験者は、同じ役職に二度と就任できないシステムをとり入れる方法で選任（初期の5年を除く）。一度きりの三役経験は、各種のアイデアを生み、ユニークな例会を行うこともある。落語例会、漫才例会、若手芸能人例会、一泊例会などがある。また、毎年11月に先人を偲び深く哀悼の意を表する物故者例会が続いている。この他、組織としてゴルフ部会とパークゴルフ部会を設け、会員同士が余暇を楽しんでいる。

なお、会務を進めるにあたって、ローカル色ゆたかに楽しく運営、現在は若手メンバーを中心に新たな展開が予想され、地域住民からも期待されている。



旧南高から大町までパレード



式典第一部『宇宙からのメッセージ』万雷の拍手を浴びて 宮脇ガバナー夫妻入場



平成27年6月6日（土）恵庭市民会館大ホール

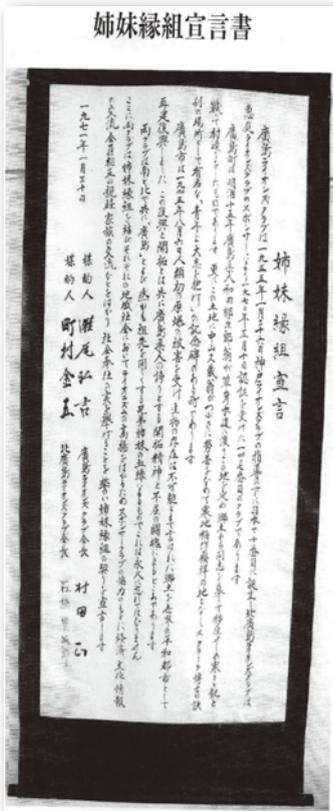
【会員名簿（入会日順）】

- 進美純海登賞之一勇
- 雄男孝道信次一守力
- 武公 憲 紘洋
- 田多川本村木口田
- 島本玉穂中鈴山吉鶴
- 川田臨崎 根物澤
- 雅法寛峰 理孝
- 玉櫻吉宮日鏡曾檜行
- 進実聖司樹満夫義
- 木泉坂間木澤子上田
- 鈴木早本荒石金水島
- 泰男司均男彦彦義明
- 澄裕 数俊勝勝道
- 澤々本浦貴谷野坂保
- 花佐藤三土大野上久
- 進実聖司樹満夫義
- 木治孝 秀英孝喜
- 一章透己明博一弘
- 俊雅 裕繁昌淳圭昌
- 井十田下部城中田本
- 向五櫻寺阿結田鳥竹
- 幸 昭雅孝健一史之
- 島湖田形田野江藤田
- 三余吉尾黒大齊島
- 三智茂彦史一史之
- 司理雄義哉次生夫磨
- 章巨義勝俊栄昭琢
- 嶋山月永見下浦本原
- 水内望辻押宮三村小
- 二博一薫登満志也昭
- 裕幸裕 信里和俊
- 澤地川野上屋澤幡川
- 相菊玉盤石嘉菊津細
- 尚政征 敏直 恵裕
- 田田藤村林本町浦田
- 細鷲加竹小竹出三山
- 彦博守守宏人聡一

「広島ライオンズクラブとの姉妹提携に思う」

6R2Z 北広島ライオンズクラブ

PR・情報委員長 L川合 雅之



認証式を終えて1年後、日本で10番目の伝統ある大きな広島ライオンズクラブからの、姉妹提携のお誘いに、私たちの先輩方は恐れ多いことでしたが、当時広島県知事の灘尾弘吉氏（後の文部大臣）と北海道知事の町村金吾氏のご媒酌により、姉妹提携の縁組を行いました。

総てのおぜん立ては、広島ライオンズクラブに行って頂き、我がクラブは大船に乗って式典を行いました。当時、弱小クラブが本州の伝統ある大きなクラブとの姉妹提携、まして、両知事が媒酌人でありましたことは、おそらく道内ライオンズクラブでは初めてのことであり、広島のリーツと結びつきを強く感じた次第であります。

チャーターLの話や当時の記録によれば、式典は札幌グランドホテルにて行われ、広島ライオンズクラブの他5クラブより、30数名が大挙参加されました。

その後、植樹祭や記念碑（広島村開拓記念唱歌）の歌碑建立が行われるなど、現在に至るまで素晴らしい親密なお付き合いが継続されております。

国際協会 331-A 地区・第 6R・第 2Z (2017 ~ 2018)

北広島ライオンズクラブ

会長スローガン 『共に、サーバントリーダーへ』

会長 L竹村 画二 幹事 L石井 邦夫 会計 L佐々木 道志 PR委員長 L川合 雅之

L相原 稔彦	L穴田 廣光	L池端 隆	L石井 邦夫	L上野 正三	L上原 康雄	L奥田 誠	L川島 哲也
L川合 雅之	L木原 雅史	L小岩 均	L小林 征勝	L澤田 澤三	L佐々木 道志	L菅原 修	L高田 直之
L竹村 画二	L田中 孝直	L長南 秀之	L對馬 伸泰	L藤山 康雄	L枇本 和人	L藤川 隆志	L深村 真人
L藤野 伸之	L堀田 峰生	L牧野 由美子	L間野 和行	L目黒 庸輔	L吉田 尚弘	L渡辺 信彦	(50音順)

北広島市中央3丁目7-8 第一ニュー大谷ビル2F

TEL011-372-0301 FAX011-372-0314

E-mail:kh-lions@topaz.plala.or.jp http://kitahirolc.com/member/index.html

サケの交流のあゆみ

6R2Z千歳中央ライオンズクラブ

岸田 道雄

我がクラブの結成以来の二大奉仕活動に「青少年健全育成」と「緑の創造」を基軸としております。

そのひとつ青少年健全育成事業に「サケの交流事業」があります。そのあゆみを振り返ってみたいとおもいます。

平成8年9月21日、23日、岡山市西大寺ライオンズクラブの一行が周年行事参加に来訪されました。その際に初めて目にした1メートルもあるサケの群が、千歳川いっばい遡上する光景に感動しました。

群の大半はインデアン水車で捕まえられ、雄・メスに分けられトラックに積み込まれサケの孵化場へと運ばれて行きました。

ふるさと館の川底から水中を遡上するサケの生態を観察し、館長より詳しい説明を受けました。

その夜の交歓会では、西大寺でサケの孵化・飼育・放流が出来ないか話題となり、実現すれば両クラブによる【素晴らしい共同事業】となると夢が膨らみました。

その後、岡山水産試験場や、千歳サケのふるさと館に調査を依頼した結果、瀬戸内海では水温が高く稚魚の放流は適さないとの結論でした。両クラブの会長が何としても子供

達の理科の教材として活用したいと検討した結果、サケの孵化と飼育だけを行う事にして準備を始めました。

平成9年2月千歳から空輸された発眼卵180粒を交流のあった西大寺南小学校へクラブ会員等が届けました。

生徒や先生が見守る中準備されていた水槽に卵を入れると、いくつかすぐに孵化しました。厳しい飼育条件である ①10℃以下の水温 ②酸素の供給 ③日光は厳禁、などの条件下で5年生による孵化・飼育が始まりました。

この事が地元新聞に大きく取り上げられ話題となり、サケの観察を通じて自然保護の精神を学ぶの大切さと話していただきました。

4月に入り水温が上がりだし、限界の15度に近くなってきたので、クラブ



出発結団式



サケ稚魚の放流の様子



サケの旅立ち集会

会員達によりポリ袋に詰められ、千歳中央ライオンズクラブ宛空輸され到着後サケのふるさと館に預けて、翌日に放流しました。

第1回の経緯を学習し、双方のクラブの検討会の結果、次回から発眼卵を1月に千歳の児童が持参訪問し、3月に飼育し大きく育った稚魚を西大寺の児童が持ち込み、市内の複数校の児童と合同で母なる千歳川に放流する事に決まりました。

平成10年1月千歳市の児童2名、教諭1名、千歳中央ライオンズクラブ会員2名で西大寺南小学校を訪れ、200粒の発眼卵を手渡しました。

双方の学校の紹介もあり、子供たちの交流もスタートしました。

現地の新聞・テレビでも報道され名実ともに大きな事業としてスタートしました。

その後3月には西大寺南小の生徒たちが立派に育てた稚魚を持参し、千歳市内の3校と合同によるサケの旅立ち集会を行い、放流式を行いました。

その後も岡山では、飼育希望が増えて現在は小学校9校、幼稚園4園になりました。ふるさと館の協力により実施されております。

この事業は、こども達の社会科の学習に大きく寄与するものと認識しておりまして、今後とも充実を図りながら続けてまいります。

将来へ向かって夢と希望を持ってほしい 「みんなで見つけよう！仕事探検教室」開催

地区青少年育成・YCE委員長 L三森 勝利

昨年度に引き続き北郷小学校にて平成29年8月29日（火）「みんなで見つけよう！仕事探検教室」を実施しました。

対象は5年生 午後1：25～15：00までパネルディスプレイ。

更には12グループに分かれて細かく自己紹介するなどして大変盛りあげました。

少子高齢化時代子供も大人も同じ目線で2時間30分楽しい充実した時間だったかと思っております。無事終了出来ましたのは、この事業に



対する能澤地区ガバナーの意欲・堂畑キャビネット幹事と佐々木校長・安達教頭・小野教務主任の信頼関係のお陰でマスコミ報道の紹介、生徒100名以上の感想文も頂いております。

今回は第3Rの合同アクティビティとして皆さんに見学して頂きましたが他のRも挑戦して頂ければ嬉しいです。

最後に事前会議の遅れ等ゾーンチェアパースン他皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。



初めての331・A地区LCIFセミナー開催について

LCIF地区コーディネーター L武田 勝行

私が7月にLCIF地区コーディネーター就任してから3ヶ月あまりを、あっという間に時が流れました。確か、100周年シカゴ大会に行つてた時、堂畑幹事からLCIFセミナーを開いたらどうかとの話があり、急遽9月5日開催に決定しました。

冒頭、私の挨拶では、20\$献金100%達成、重点目標「はしかイニシアチブ」を強く訴えました。では、なぜはしか(麻疹)なのか。

アフリカ・アジアをはじめとする多くの途上国では未だに幼い子供たちには深刻な問題です。世界では1時間に14人が「はしか」で命を落としています。毎日340人、1年間で123,000人も亡くなっているのです。

例えば、「小樽」市が毎年消えていっているのです。



大石エリアコーディネーターからの基調講演



小野寺MDコーディネーターのご挨拶



参加者からの報告

(121,000人)

皆様方のLCIFへの善意ある寄付が、2億人超の子供たちへの「はしか」予防接種に役立っております。ライオンズの継続的支援がなければこの子供たちを助けることができません。このはしか「イニシアチブ」に特化するというのが、「将来のある」子供たちの命を救うという、大いに誇りのある行為なのであります。どうかご理解お願

い致します。

今回のセミナーに85名の集まりをいただき、なんとか、今年度LCIFの方針を示せたのではないかと思ひ、これからも継続的にLCIFのPRをして行きたいと考えています。

72クラブコーディネーター又当日出席のゾーンチャーパーソンの皆様のグループディスカッション、大いに盛り上がっていました。これもひとえに皆様のおかげであります。

結びに、東京からはるばる駆け付けてくれました、大石エリアコーディネーター、又色々とお言いただきました小野寺MDコーディネーター、誠にありがとうございました。

そして、当日集まってくれました、能澤ガバナ、荒井第一副地区ガバナ、鈴木第二副地区ガバナ、キャビネット幹事、会計、運営委員長、各ゾーンチャーパーソンの皆様、当日会場設営に協力してくれました、札幌清田ライオンズメンバーの方々、本当にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。まして、報告とさせて頂きます。

ライオンズクエスト・セミナー

地区ライオンズクエスト委員長 古川 法之

ライオンズクエストとは、青少年が「自尊心」を高め「責任感のある」そして「自分も他人も大切」にする健康的な人間に成長するために必要な「ライフスキル（生きる力）」を養うプログラムの事です。若者達に「こんな力をもっとついていたらいのに」と思うことがあると思います。

- ・ 自分にもっと自信を持つてほしい（自己肯定感）
- ・ これはどうでしょう、かと、いうような新しい発想を生み出してほしい（コミュニケーション・働きかけ力）
- ・ 相手の話をちゃんと聞いて、しっかり受け止めてほしい（傾聴力）
- ・ ちょっととした失敗や、思い通りにいかないことを上手に乗り越えてほしい（ストレスマネジメント力）
- ・ 始めから何でも指示を仰がず、考えて行動を決めてほしい（主体性）

私達が社会に出て多くの経験・体験の中で挫折したり、それをしっかり乗り越えてきたりした事。（困難を上手に乗り越える力）

子供達やこれからの社会の担い手となる若者達に備えてほしい力、すなわち「ライフスキル」を分かり易く身につけさせることが、とても大事であると思います。

ライオンズクエストプログラムは「実践型学習」により、2日間かけて「ワークショップ」を開きます。

1日目はライフスキルを感じ2日目はライオンズクエストプログラムを伝える練習の日（模擬実践）

を行います。

決して難しい内容ではなく、だれでも進めていけるようになっていて、ライオンズクエスト専任講師による説得力のある、ワークショップ参加者の誰もが納得、感動、笑顔で終了証を手渡されることとなります。

しかしながらライオンズクエストは知っているけど漠然と理解をされているライオンズメンバーが多いと思います。

それを少しでもクリアにして頂くことが出来たらと思い、331-A地区、各ライオンズクラブのメンバーの方々に参加して頂き

ライオンズクエストセミナーを開催しました。

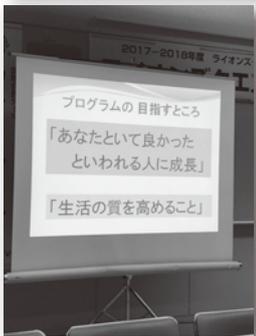
2017年9月6日「かでる2・7」におきまして67名のライオンズメンバー集合のもと、ライオンズクエスト説明員・L設楽幸子（札幌西LC）に、331-A地区におけるライオンズクエストの歴史等を説明・解説して頂きました。

そしてライオンズクエスト専任講師である篠田康人先生を東京からお招きして、まさにライオンズクエストのイロハをしっかりとレクチャーして頂きました。

2時間のセミナーでしたが、内容が実践的で分かりやすく、本当に有意義な時間になったと思います。

私を含め参加された各クラブのメンバーの方々はライオンズクエストに対しての理解を深めるきっかけになったと確信しています。

ぜひ、再度このような機会を設けられればと思います。



環境保全研修会

地区環境保全委員長 蛭田 清樹郎

2017年度 9月29日(金)

ライオンズクラブ国際協会331-A地区
環境保全研修会

環境保全委員会は、今年9月29日札幌市内かでの2・7で、「緑化活動の意義と可能性」と題して研修会を開催し68名のライオンのご出席を頂きました。

この研修会は、環境保全の対応としての緑化活動が、広く一般の人々に広がり、10年20年と継続していくことが求められることから、単に研修会開催で留まらず、次のステップとして、ライオンズ100周年を迎えた今年から更に次の100年を標榜して各地域の市民や団体と提携し緑化活動の意義、必要性を啓蒙、啓発して頂くため、当日ご出席頂き研修を受講したライオンに（リーダー定義）としてグリーンリーダーと名付け、能澤地区ガバナークラブから認定証を受領して頂き、今後、各クラブから各地域の市民や団体に広がる継続的な緑化啓発活動に発展して頂きます。具体的には、今年10月15日から11月15日の一カ月を植樹、緑化啓蒙に取組む「100年の樹植樹月間」としました。

子供達による
植林風景

第十四回薬物乱用防止教育認定講師養成講座を開催

地区薬物乱用防止・平和ポスター委員長 L水野 眞佐夫

2017年10月11日(水)に札幌市北海道民活動センター(かでる2・7)において、(公益財団法人)麻薬・覚せい剤乱用防止センター主催、内閣府・厚生労働省・文部科学省・警察庁の後援により、第十四回薬物乱用防止教育認定講師養成講座を開催いたしました。主催者を代表して企画部長・加藤康樹氏をお迎えし、関係部局からお招きした専門・実践講座の講師の皆様4名に加えてLC役員11名と受講L107名(役員受講者含む)に参加いただきました。

北海道教育庁学校教育指導主事・木野下尚大氏による「薬物乱用防止教育の現状」、北海道保健福祉部主査(麻薬)・久米啓氏による「北海道における薬物乱用防止対策」と題して、各司法・行政機関が把握している薬物乱用防止教育に関する現状と課題について、講師自身の体験も交えながら分かりやすく講演頂きました。

閉講式において、ことし9月に(公益財団法人)麻薬・覚せい剤乱用防止センターに着任された企画部長・加藤康樹氏に講評をいただき、さらに、L鈴木善一第二副地区ガバナーに閉会のご挨拶を頂き無事、認定講師養成講座を終了いたしました。終了後、「L万本博士の映像講座が更新されて内容がよかった」、「ライオンズクラブ方式の実践講座が参考になった」という評価とともに、「中学生・高校生を対象とした実践講座の紹介が欲しかった」とする今後の課題となるご意見も受講Lからいただきました。

今年度の講師養成講座において、新規64名・継続21名のLへ認定証が授与されました。一年間に3回以上講師を務められるとゴールド認定証が授与されます。今年度は過去最高数である22名のLへゴールド認定証が授与されました。

今後とも経験を積まれた認定講師が数多く誕生し、多くのクラブにおいて薬物乱用防止教育の活動が一層活発に実施されて、青少年の健全な育成と安心・安全に満ちた平和な社会の実現に貢献していくことが期待されます。

開講式に続いて、DVD映像の視聴による2つの講座が開始されました。最初は「ダメ、ゼッタイ」の薬物乱用防止教育DVD「身近にひそむ薬物乱用」について、基礎講座(医学知識)「薬物乱用と心身への影響」(医学博士・L万本盛三)について映像講座を視聴いたしました。

専門講座では、北海道警察本部刑事部警部補・福島圭太氏による「薬物犯罪等の現状」、



L能澤正明地区ガバナーから認定証授与



薬物乱用防止教育ゴールド認定講師L設楽幸子FWT地区コーディネーター



麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長・加藤康樹氏



ゴールド認定者集合写真



100周年記念行事・地区社会福祉委員会
『社会福祉フォーラム』各クラブが取り組むアクティビティーを振り返る！

地区社会福祉委員長 L 家村 恒幸

2017年10月13日(金) 札幌第一ホテルにおいて『社会福祉フォーラム』をライオンズクラブ国際協会331-A地区30クラブから54名が参加し実施されました。



クラブ事業報告



基調講演
(スペシャルオリックス)



ディスカッション発表

- ① フォーラムでは札幌コスミックシニアL 札幌もいわLC 岩見沢LC からそれぞれ実施されている代表的アクティビティーについての事業報告を頂きました。
 - ② 基調講演としてはスペシャルオリックス北海道事務局の榎山秀明様・榎山雪江様から『知的障害者の現状とサポートのあり方・スペシャルオリックスとは』の講演がありました。
 - ③ このスペシャルオリックスは2015年ホノルル国際会議でライオンズ国際会長がパートナーシップの調印をされ翌2016年には日本ライオンズクラブも同様の調印を交わしています。また知名度も低く私達ライオンズクラブの協力が必要とされています。
 - ④ 7、8名でテーブルディスカッションを行いました。
- 『私たちに何ができるのか?』のテーマに沿って新しい事業の取組方や現状の問題点等が話し合われました。
- 各テーブル毎のディスカッションの報告では各クラブのアクティビティーを知れた事と、新たにスペシャルオリックスの存在を知れたのでクラブに持ち帰り検討したい等の発表がありました。
- ただ今後どのように関わっていったらよいか?どのようにコンタクトを取って行ったら良いか分からないとの声も聞かれる中、フォーラム終了後には講師の方との名刺交換も活発に行われ取組へ一歩前進出来たのではないかと思います。
- 単独クラブでのアクトより複数クラブ(ゾーン単位)での取組みを希望される声もあり今後の見直し・修正や新規事業取組等が期待されるフォーラムになったと感じました。

東京LC結成65周年記念式典に参加して

1R1Z札幌ライオンズクラブ

前会長 L萩本 哲夫

私ども札幌LCのスポンサークラブであります、東京ライオンズクラブの結成65周年記念式典が2017年3月9日に開催され、当クラブから6名参加しました。

皆さんご存知のとおり、東京LCは1952年3月5日にマニラホストライオンズクラブを

スポンサークラブとして、日本で最初のライオンズクラブとして発足されました。横浜LC、神戸LC、そして4年後にはこの北海道の地に札幌LCをエクステンションし、現在まで20のクラブのスポンサーをされ、日本のライオンズの基礎を作られたクラブであります。

当日の式典は、東京の帝国ホテルで開催され、スポンサークラブのMANIRA(HOST)LCはじめ姉妹提携のTAIPEI(HOST)LC、SEOUL(HOST)LC、子クラブなど40クラブが参加した、国際色豊かだにぎやかな式典でありました。途中、LCIF理事長で前国際会長であるL山田 寶紘もサプライズ参加され、祝辞を述べられました。

65周年記念アクティビティの

目玉はミャンマーのヤンゴン郊外ヨーグア小中高一貫校へのコンピュータ教室の贈呈です。東京LCは10年前からこの学校を含め、毎年3名の奨学金支援を続けておりましたが、65周年を機に、コンピュータ教室を贈呈するプロジェクトを開始し、資金はLCIF国際援助交付金と東京LCで、教育指導は民間センターヤンゴン、支援はヤン

ゴンLC、後援は福岡ホストLCとして実現しました。式典会場ではスカイプで現地と結び、現地の小中学生の喜びの声を伝えてきました。

また、設立時から寄付あるいは理事輩出などで積極的な支援を続けてきた財団法人日本盲導犬協会に対しても、金一封が送られました。

また、東日本大震災の福島子どもオーケストラの継続のため、東京LCのメンバーで立ち上げた「(社)福島子どもオーケストラ」を通じて支援していましたが、式典では代表して郡山市金透小学校のメンバーが演奏を披露しました。

式典並びにその後の懇親会を通じて、東京LCの歴史の重さを感じ、また、国際的な視点を持ちながら、数々のアクティビティを見て、改めて、わがクラブもこのような立派な親クラブを見習いながら成長しなければならぬという決意を持ちながら、会場を後にさせてもらいました。



授業参観日に薬物乱用防止教室、キャリア教育も

1R1Zサッポロシニアライオンズクラブ

PR委員長 L荒川 美和子

「授業参観日に薬物教室を開いてくれませんか」、「キャリア（経験）教育に3人のゲストティーチャーを派遣してください」薬物教室で知り合った先生、教頭からお願いの電話を頂きました。クラブとして、直ぐに飛びつきました。

授業参観日の薬物教室は、9月30日（土）に本郷小で開かれました。円山小で薬物教室を開いており、その縁で知り合った竹下裕里先生が、本郷小に異動、授業参観日の薬物教室の依頼がありました。対象は5、6年生で、6年生（62人）の講師はL森一男、5年生（44人）



授業参観日で話すL荒川



キャリア教育のL森



キャリア教育のL吉田

が私が担当、会場は多目的室でした。

L森は、DVDを15分間見せたあと、「乱用すると、どうなるか」、「乱用は重い罰を受けます」、「薬物をやらない3つの注意点」などについて話しました。

私は、看護師を務めた経験から病と闘う子どもの話しや、「薬は、体を治すために飲みますが、体をダメにする薬もあります。それが、薬物です」と話し、薬物にはゼツタイに手を出さないように呼び掛けました。

参観した保護者は、6年が30人、

5年が35人。保護者にも、薬物の話を聞いて欲しいと思っていました。当クラブは、今期14校で薬物教室を開催します。

キャリア教育進路探究「自分探しの旅」の学習の舞台は、山鼻南小。越野宗丈教頭に頼まれ、10月13日に開きました。ゲストティーチャーは、当クラブのL吉田英則、私とL森一男の3人。2時間続けての授業で、一人25分ほど話しました。

L吉田は、リース会社の社長で、40歳までに人生計画を立て起業した事、会社を興す大変さ、社員が成長した時の喜び、お客から感謝の言葉を貰った時の嬉しさを熱く語りました。札幌大の看護師用の保育園などを14か所で経営しています。

私は、社会保険庁病院の看護師を39年務めましたので、患者との接し方について話しました。「小児病棟を担当

した時、3歳の男の子が、肺の病気で闘っていました。アンパンを食べたいと、お母さんにねだりまして。むせたりしたら、亡くなってしまうので、私はアンパンを少しづつ舌に乗せました。看護師仲間や医者もそばで見守ってくれ、子どもは、笑みを浮かべ食べました。チームワークで一つの事を成し遂げ、看護師としての喜びでした。」生徒は、静かに聞いてくれました。

L森は、読売新聞の記者時代に、昭和47年2月、札幌オリンピック70級級のジャンプ大会で金、銀、銅のメダル独占、60年8月群馬県上野村御巢鷹の尾根で起きた日航ジャンボ機事故で520人が死亡したビッグニュースの取材体験を話しました。記者のやりがいを披露しました。

3人とも、努力する事の大切さ、自分の職業は親に言われるのではなく、「自分が好きな道を歩んで欲しい」と話しました。担任の先生から、「すげーためになったわーと生徒から反応がありました」と、お礼のメールが届きました。子どもらの進路選択に、少しでも役に立っただけだと思います。

青少年育成委員会アクティビティ

2R1Z札幌エルムライオンズクラブ

8月10日(木曜日)児童養護施設興正学園の生徒をお招きしての夏休み少年少女釣り堀大会を清田区有明の藍鱗(あいらん)を会場に行いました。当日の参加児童は20名、引率者8名、参加Lは18名。

10時にバスにて児童が到着。実行委員長のL小川 薫の進行で木村会長の挨拶、釣堀に対しての安全、注意事項などお話をして釣り堀大会が始まりました。児童2人に対して引率者やLメンバーが付き会場池の魚の釣れそうなポイントに移動し10時20分開始。最初、児童の中には針に餌のつけ方が解らない子もおり大人が張り切って付けてるグループもいました。慣れるにつれ高学年の児童は20cmもあるような魚を釣り上げたりもいました。子供たち全員が1匹以上釣れ、夏休みの思い出の1ページとなりました。

11時過ぎに食事が始まり、生徒は、自分たちが釣った魚を焼いて食べたり、てんぷらにして食べたりなどは経験がなかったらしくいつもと違う格別な食事だったようです。

今回のACTは日頃なかなか野外の出る心が新鮮で初めて経験する児童が多く子供たちの心の中に大切な思い出として残り有意義な1日になりました。
労力ACTのべ90時間。



集合写真



木村会長と実行委員長L小川 薫の挨拶



昼食風景



何か釣れるかな?
釣りの真っ最中です。
その1



今日参加の子供たちにお土産です。



その2

第一回札幌大通ライオンズクラブカップ全国ジュニアカーリング大会

第二副会長 L沼田 良治

カーリングの歴史は古く、北欧はフィンランドが発祥の地とされています。ストーンに1512年と刻まれたものが見つかったとの事です。

今から500年以上も前に遊びとして行われ同じ環境の国々に伝播し、スポーツとして発達し今日に至っていると思われまます。そして、オリンピック種目と昇華させた歴代の選手の研鑽と関係者のご努力を考えた時、熱い想いが感じられるとともに、時の長さがひしひしと伝わってきます。

当クラブは20有余年に亘り青少年育成事業の一環としてハンディキャップスキー大会を行って参りましたが、一つのくぎりとして終らせていただき、新たなアクティビティとして全国ジュニアカーリング大会（小学生〜21歳迄）を



開会式挨拶



試合風景

10月8日・9日にどうぎんカーリングスタジアムに於いて開催する事となりました。

今回は日程上12チーム（総勢54名）の参加で行われました。（初回にもかかわらず参加チームも多く選考にて出場チームを決定。）この競技は小学生だからといってあなどる事は出来ないのです。経験年数が物を言うといわれています。

一回目の優勝チームは絆ソラプチでしたが、その他のチームの活躍もめざましいものがありました。

カーリング大会を通じて、青少年の育成に対する意識と自覚を今迄以上に深め、社会貢献できる事に誇りを持って継続していくことが札幌大通ライオンズクラブの責任なのかもしれませぬ。

この札幌大通ライオンズクラブカップ全国ジュニアカーリング大会の開催が、2年後の冬季オリンピック・パラリンピックの候補地として札幌が名乗りをあげ、その実現に向けた一助となれば幸いと思えます。

そして、この大会に出場しているチームの中から代表チームが決まったらと大いに期待している所であります。

大会の開会式・閉会式に、ライオンズクラブ国際協会331-A地区地区ガバナール能澤正明、キャビネット役員をはじめ札幌ライオンズクラブ会長ライオンのご臨席を賜り大会に花を添えていただいた事に心より感謝申し上げます。

追記

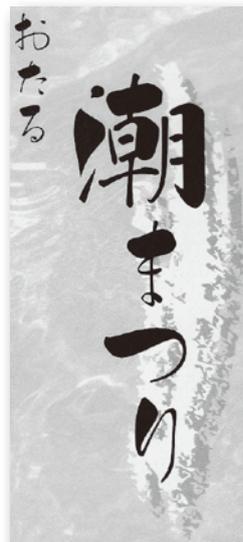
私の本大会を観戦した感想を申し上げますと、各チームのプレーは、フォームが皆綺麗で時には蝶が舞うばかりに、ある時は魚の様に氷のレーンを自由自在に所狭しに動き回るのである。この表現が的を射ているかわかりませんが、本当に感動ものであり、ストーンとストーンがぶつかり衝撃音と共ににはじき合う場面は非常にエキサイティングであると同時に戦略的であり、又、攻略的でもあり奥深いスポーツである事を思い知らされました。



アクティビティ活動

おたる潮まつり

2R2Z札幌時計台ライオンズクラブ



第51回小樽潮祭、通算5回目となるボランティア参加への協力をお呼びかけしたところ本年度は我が時計台ライオンズからご多忙の中10名のライオンが参加されました。

社会福祉法人志成会朝里ファミリアの入所者の方々が潮ねりこみに参加する際に車を押すなどの補助、介助ボランティアです。入所者の皆さんは本番に向けて何日も前から練習をされていたようです。7月29日大変暑い中、施設内でリハーサル終了後昼食をとっていいよ本番です。何度も何度もリハーサルを繰り返したおかげで朝里ファミリアグループは順調に元氣よく進んでいきます。「ワッショイ！ワッショイ！」先導する施設スタッフの方々、そしてライオンズのメンバーも！全員が汗を拭いながら一生懸命踊りそして一歩一歩進んでいきます。沿道で「朝里ファミリア頑張れ！」の横断幕で応援しているご家族の方々、優しく見守って下さる観光客の皆様、沢山の海外からの観光客の方も優しく微笑みながら拍手をしています、そして厳しい暑さの中体調を崩す人もなく朝里ファミリアグループは無事ゴールイン！

皆様、暑かったですね。本当に本当にご苦労様でした。そして楽しかったですね。また来年も参加しましょうね。

本年度は朝里ファミリア様へ時計台ライオンズクラブよりテントが寄贈されました。このテントが様々な行事等に活用されれば幸いです。今後も潮祭りをはじめ様々なボランティア活動を継続し、ハンディキャップをお持ちの方々の社会行事参加への協力に対し全力で取り組んで参りたいと思います。

2R2Z札幌わかばライオンズクラブ

PR委員長 L前田 光徳

今期PR委員長と言う役職を拝命し久しぶりに執筆させて頂いております。

昨年6月知り合いの紹介を受けここ札幌わかばライオンズクラブの例会にゲストとして例会に出席させて頂き短い時間でしたが多くのメンバーと交流させて頂き新たなご縁を授かり感謝申し上げます。

それから数週間が経過し気がついたときにはオリエンテーションそして入会式の中でスポンサーと共に宣誓を行っておりライオンズバッジを授与して頂きました。

わたくし自身仕事以外に異業種交流事業を全国で展開しており、様々な地域でそれぞれのお立場の方々と広く交流をさせて頂いており例会形式の交流会には馴れているつもりでしたがセレモニーの中でまず驚いたのがやはり国歌斉唱です。例会場には歌詞までもが掲示されており詩の内容にあらためて日本人に

生まれて良かったと自賛しております。次に驚いたのが全てのプログラムにプロトコールがあり守られていることです。組織の歴史と大きさを考えた場合簡単ではないことだと思います。さて、クラブのPRと言うことですが7月に遙か浦河の地において第8回浦河少年サッカー大会が開催されました。開会式には能澤ガバナーにもご挨拶を頂



き誠にありがとうございます。2日間に亘る接戦の末アスルクラロ札幌LAVOLOにおける決勝戦が行われる直前に激しい雷雨に見舞われ大会初となる2チーム優勝というまれに見る結果となりました。スポーツに勝敗はつきものですが子供達の汗とはつらつとしたプレーを観戦させて頂き全チームに優勝旗を渡したい気持ちです。

これからも色々なアクティビティが行われますがこれを機にまた投稿させて頂きます。

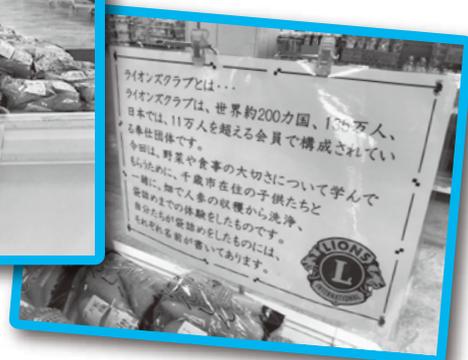


食育推進活動 in けーあいファーム

6R2Z千歳ライオンズクラブ

先日8月26日(土)
教育青少年・薬物乱用防止委員長 L五十嵐重明によります
けーあいファームにて食育推進活動が行われました。

当日は前日の雨天の予報にも関わらず、幸運なことに天候にも恵まれたたくさんの親子での参加が実現しました！





地区ガバナー・キャビネット動向

ライオンズクラブ国際協会331-A地区の事務局ボードに掲載された地区ガバナー、キャビネットの動向について、2017年10月1日から同年11月末日まで(11月は予定となります。)を開示いたします。

月日	曜日	項目	場所
10月1日	日	札幌はまなす LC 全国少年ジャンプ大会	札幌荒井山ジャンプ競技場
10月2日	月	地区献血推進セミナー	札幌全日空ホテル
10月4日	水	札幌東 LC チャーターナイト 20周年記念式典	プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌
10月5日	木	札幌北の杜 LC チャリティゴルフ大会	滝のカントリークラブ
10月8日	日	札幌大通 LC 全国ジュニアカーリング大会	どうぎんカーリングスタジアム
10月11日	水	薬物乱用防止教育認定講師養成講座	かでの2・7
10月12日	木	第二回日本ライオンズ・GAT 運営会議	キャッスルプラザホテル 名古屋
10月13日	金	社会福祉フォーラム	札幌第一ホテル
10月13日	金	滝川 LC ふれあいチャリティビールパーティー	ホテルスエヒロ
10月21日	土	札幌赤レンガ LC 植樹アクティビティ	円山動物公園
10月23日	月	第二回キャビネット会議	京王プラザホテル札幌
10月25日	水	千歳 LC 認証 55周年記念式典	ホテルグランテラス千歳
10月27日	金	2017年度 FWT セミナー	札幌第一ホテル
10月28日	土	長沼 LC 認証 50周年記念式典	長沼町民会館
11月4日	土	ライオンズクラブ創設100周年記念奉仕事業「道民の集い」	札幌市教育文化会館
11月5日	日	札幌トラスト LC キッズ空手道選手権大会	セキスイアイスアリーナ附属体育館
11月7日	火	小学生向けネットマナー講座講師養成セミナー	かでの2・7
11月12日	日	札幌すすきの LC 少年少女柔道交歓大会	札幌刑務所「振武館」
11/17-20	金-月	第56回台湾 OSEAL フォーラム	台南
11月22日	水	アラートフォーラム(4R5R)	岩見沢ホテルサンブラザ
11月24日	金	アラートフォーラム(1・2・3・6R)	かでの2・7
11月25日	土	江別グリーン LC ワイン会&音楽の夕べ	あおい
11月27日	月	第二回複合地区ガバナー協議会	京王プラザホテル札幌
11月29日	水	100周年記念特別合同招待例会(第4R・第5R)	岩見沢ホテルサンブラザ

10月-11月末

札幌清田ライオンズクラブ

やまむら たくや
L 山村 卓也

(株)フライヤーズカンパニー 代表取締役

■〒062-0053
札幌市豊平区
月寒東3条16丁目1-11
TEL 011-858-7338



入会日：2017年8月23日 スポンサー：L 荒井 喜和

札幌しらかばライオンズクラブ

やまもと なおき
L 山本 直樹

三宏電気(株) 専務取締役

■〒062-0051
札幌市豊平区
月寒東1条1丁目7-22
TEL 011-851-1216



入会日：2017年10月3日 スポンサー：L 中村 達也

札幌もいわライオンズクラブ

うさみ しょう
L 宇佐美 祥

(株)北海道ホームサービス 代表取締役

■〒003-0838
札幌市白石区
北郷8条10丁目1-32
TEL 011-802-7847



入会日：2017年8月17日 スポンサー：L 小屋 英明

サッポロシニアライオンズクラブ

たかはし ときこ
L 高橋 登喜子

■〒065-0042
札幌市東区本町2条1丁目13-4
TEL 011-781-3827



入会日：2017年8月17日 スポンサー：L 森 一男

札幌もいわライオンズクラブ

じんの ゆうぞう
L 神野 裕三

北海道オフィス・マシン(株)
代表取締役社長

■〒060-0042
札幌市中央区
大通西16丁目3番地
TEL 011-632-5000



入会日：2017年9月7日 スポンサー：L 春野 守夫

札幌中央ライオンズクラブ

ろくど としこ
L 六土 宗子

ルーファー 代表

■〒060-0806
札幌市中央区南6条西3丁目
秋水ビル7F
TEL 011-561-9050



入会日：2017年7月13日 スポンサー：L 浅野 郁子

札幌時計台ライオンズクラブ

ささき なおと
L 佐々木 尚登

スタイル 代表

■〒064-0809
札幌市中央区南9条西9丁目2-12
TEL 011-301-2543



入会日：2017年9月1日 スポンサー：L 佐藤 伸昭

札幌中央ライオンズクラブ

ほそがい しげとし
L 細貝 成俊

(株)テレ・マーカー 監査役

〒060-0061
札幌市中央区南1条西6丁目
あおばビル
TEL 011-219-7888



入会日：2017年7月13日 スポンサー：L 佐藤 智裕



札幌東ライオンズクラブ

ふるや けんじ
L 古家 健司

社会福祉法人 麦の子会
ハーベストガーデン 管理者

■〒007-0837
札幌市東区北 37 条東 9 丁目 2-19
TEL 011-721-7000



入会日：2017 年 8 月 23 日 スポンサー：L 谷山 直樹

札幌時計台ライオンズクラブ

かぶと もりじ
L 甲 盛嗣

合同会社 FUN-PROJECT

■〒064-0805
札幌市中央区南 5 条西 5 丁目
ソニアル桂和ビル 7F
TEL 011-561-7722



入会日：2017 年 9 月 1 日 スポンサー：L 佐藤 伸昭

札幌東ライオンズクラブ

おおた たかひさ
L 太田 貴久

石井総合法律事務所 弁護士

■〒060-0061
札幌市中央区
南 1 条西 4 丁目大手町ビル 3 階
TEL 011-200-9097



入会日：2017 年 8 月 23 日 スポンサー：L 谷山 直樹

札幌パイオニアライオンズクラブ

はせべ たけし
L 長谷部 健

エムズ・インダストリー(株)
建築部 部長

■〒007-0834
札幌市東区
北 34 条東 5 丁目 3-16 Mビル 2 F
TEL 011-733-6404



入会日：2017 年 7 月 27 日 スポンサー：L 美田 法賢

札幌東ライオンズクラブ

なら しんいち
L 奈良 伸一

北斗徽章(株) 代表取締役

■〒062-0934
札幌市豊平区平岸 4 条 9 丁目 2-13
TEL 011-823-8393



入会日：2017 年 8 月 9 日 スポンサー：L 谷山 直樹

札幌パイオニアライオンズクラブ

つなぶち たかし
L 綱湊 孝志

(株)メニーズコート 住宅事業部 部長

■〒007-0834
札幌市東区
北 34 条東 5 丁目 3-16 Mビル 2 F
TEL 011-711-2211



入会日：2017 年 7 月 27 日 スポンサー：L 美田 法賢

札幌東ライオンズクラブ

たけだ たもつ
L 竹田 保

社会福祉法人 HOP 理事長

■〒063-0804
札幌市西区二十四軒 4 条 6 丁目 3-2
TEL 011-632-7077



入会日：2017 年 9 月 20 日 スポンサー：L 菅野 英幸

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

なとり こうた
L 名取 航太

(株)ルネサンスマネジメント
代表取締役

■〒064-0804
札幌市中央区南 4 条西 14 丁目 2-8
TEL 011-520-5311



入会日：2017 年 8 月 1 日 スポンサー：L 山田 稔

札幌新星ライオンズクラブ

ゆうき たかし
L 結城 隆史

(株)クロスフィールド札幌 代表取締役

■〒063-0038
札幌市西区
西野8条2丁目12-20 103
TEL 011-215-8925



入会日：2017年9月1日 スポンサー：L前山 忠

札幌トラストライオンズクラブ

なかむら ひとし
L 中村 均

(株)アシスト 代表取締役

■〒064-0954
札幌市中央区
宮の森4条10丁目1-10-501号
TEL 011-618-4000



入会日：2017年8月23日 スポンサー：L池田 謙一

岩見沢はまなすライオンズクラブ

いwasaki たけし
L 岩崎 剛

空知リゾート(株)ホテルサンプラザ
営業副支配人

■〒068-0004
岩見沢市4条東1丁目6番1号
TEL 0126-23-7788



入会日：2017年7月11日 スポンサー：L渋谷 俊政

札幌トラストライオンズクラブ

くろさわ ちあき
L 黒澤 千秋

六花-R I K K A- 代表

■〒069-0831
江別市野幌若葉町46-35
TEL 090-1380-3462



入会日：2017年8月23日 スポンサー：L柴山 ひろこ

奈井江ライオンズクラブ

よない きみひろ
L 米内 公大

(株)米内搬舎 代表取締役

■空知郡奈井江町
字奈江原野2040-11
TEL 0125-65-3034



入会日：2017年7月1日 スポンサー：L山村 祐一

札幌トラストライオンズクラブ

うきた としや
L 浮田 俊也

(株)ソーホー 代表取締役

■〒062-0633
札幌市豊平区西岡3条11丁目5-10
TEL 011-583-7874



入会日：2017年9月6日 スポンサー：L京野 信博

奈井江ライオンズクラブ

こめだ ひでひこ
L 米田 英彦

北海道電気(株) 代表取締役社長

■空知郡奈井江町
字奈井江776番地
TEL 0125-65-6155



入会日：2017年7月1日 スポンサー：L山村 祐一

札幌ライラックライオンズクラブ

たけだ ひろし
L 武田 浩志

(株)サンクィック 取締役制作部長

■〒007-0808
札幌市東区東苗穂8条1丁目8-2
TEL 011-791-9129



入会日：2017年9月1日 スポンサー：L市川 俊明



秩父別ライオンズクラブ

ふじおか かずまさ
L 藤岡 和正
農業



■〒078-2100
雨竜郡秩父別町 2023-5
TEL 0164-33-3702

入会日：2017年7月1日 スポンサー：L 柴田 壹隆

そらちライオンズクラブ

つじ いさお
L 辻 勲
砂川市役所 市議会議員



■〒073-0166
北海道砂川市
西6条北3丁目1番1号
TEL 0125-54-2121

入会日：2017年10月1日 スポンサー：L 木村 利幸

秩父別ライオンズクラブ

ふじわら かつお
L 藤原 賀津雄
合同会社 やおき 役員



■〒078-2100
雨竜郡秩父別町 2条1丁目
TEL 0164-33-3547

入会日：2017年7月1日 スポンサー：L 本村 修二

秩父別ライオンズクラブ

いまい たかひと
L 今井 誉民
秩父別郵便局 局長



■〒078-2199
雨竜郡秩父別町 1545-3
TEL 0164-33-2240

入会日：2017年7月1日 スポンサー：L 佐藤 一美

江別ライオンズクラブ

こん まさのぶ
L 近 雅宜
酪農学園 常務理事



■江別市文京台緑町 582
TEL 011-388-4160

入会日：2017年10月12日 スポンサー：L 町村 均

秩父別ライオンズクラブ

おかざき じょうじ
L 岡崎 丈司
町議会議員



■〒078-2102
雨竜郡秩父別町 2条2丁目

入会日：2017年7月1日 スポンサー：L 大野 敬

当別ライオンズクラブ

はせがわ さとし
L 長谷川 敏
ウエスト 31 代表



■〒061-0234
石狩郡当別町西町 31 番地
TEL 0133-23-0225

入会日：2017年9月1日 スポンサー：L 山田 豊

秩父別ライオンズクラブ

どい とおる
L 土井 亨
町議会議員 議長



■〒078-2102
雨竜郡秩父別町 2条2丁目

入会日：2017年7月1日 スポンサー：L 柴田 壹隆

秩父別ライオンズクラブ

はただ ひさし
L 畑田 寿
SEED 会長



■秩父別町滝ノ上
TEL 0164-33-2065

入会日：2017年7月1日 スポンサー：L 本村 修二



討報

心よりご冥福を
お祈り申し上げます

赤平
ライオンズクラブ
L 獅畑
輝明



ライオン歴

1993.6.1 入会
2002～2003 第二副会長
2003～2004 第一副会長
2004～2005 会長
2006～2007 ゾーン委員
2015～2016 会長
他 理事、PR 委員長

2017年9月25日(享年66歳)

札幌中央
ライオンズクラブ
L 桧山
良秀



ライオン歴

《CAB》
2001 331-A地区第1R第2Z
ゾーンチェアパーソン
2003 331 複合地区YE副委員長
2011 331-A地区第57回地区年次大会
指名・選挙委員会委員長
《クラブ》
1996 クラブ幹事
1999 クラブ会長
2007 クラブ会長
2012 クラブ会長

2017年9月30日(享年67歳)

新十津川
ライオンズクラブ
L 釣部
勲



ライオン歴

1987.7～1988.6 ライオンテーマー
1988.7～1989.6 幹事
1989.7～1990.6 第三副会長
1990.7～1991.6 第二副会長
1991.7～1992.6 第一副会長
1992.7～1993.6 会長
1994.7～1995.6 指導力開発委員長
1996.7～1997.6 一年理事
1997.7～1998.6 二年理事
2001.7～2002.6 一年理事
2003.7～2004.6 一年理事
2004.7～2005.6 一年理事
2007.7～2008.6 第三副会長
2008.7～2009.6 第一副会長
2009.7～2010.6 会長
2011.7～2012.6 会員理事 副委員長
2012.7～2013.6 会員理事 委員長
2013.7～2014.6 会員理事 委員長
2014.7～2015.6 第二副会長
2015.7～2016.6 第一副会長
2016.7～2017.6 会長

2017年9月27日(享年83歳)

芦別
ライオンズクラブ
L 浦山
和雄

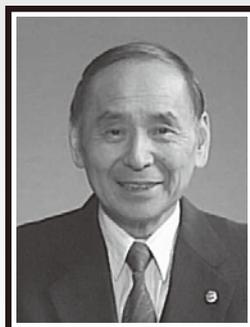


ライオン歴

1977.10 入会
1979.7～1980.6 親睦委員長
1981.7～1981.6 1年理事
1985.7～1986.6 財務計画委員長
1986.7～1987.6 テルツイスター
1987.7～1988.6 幹事
1988.7～1989.6 第2副会長
1989.7～1990.6 第1副会長
1990.7～1991.6 会長
1991.7～1992.6 副会長
1992.7～1993.6 リジョン協力委員
1993.7～1994.6 ゾーン委員
1994.7～1995.6 財務計画委員長
1995.7～1996.6 副テルツイスター
1997.7～1998.6 財務計画委員長
1998.7～1999.6 会員会則委員長
1999.7～2000.7 ゾーンチェアマン
2001.7～2001.6 認証40周年記念式典
実行委員長
2003.7～2004.6 監査
2005.7～2006.6 財務計画委員長
2006.7～2007.6 副テルツイスター
2007.7～2008.6 リジョン・チェアパーソン
2011.7～2012.6 財務計画委員長
2012.4.19 終身会員

2017年9月25日(享年85歳)

恵庭
ライオンズクラブ
L 只野
覚



ライオン歴

1998～1999 会計
2005～2006 会長
2008～2009 地区PR・
ライオンズ情報副委員長
2015 終身会員

2017年9月2日(享年81歳)



会員動向

		331-A 地区						
		1R	2R	3R	4R	5R	6R	合計
期首	LC数	13	15	9	12	15	8	72
	会員数	527	616	370	375	460	357	2,705
	内、家族会員数	117	126	56	55	62	45	461
8月末	LC数	13	15	9	12	15	8	72
	会員数	537	619	382	382	473	364	2,757
	内、家族会員数	120	126	56	55	62	45	464
9月末	LC数	13	15	9	12	15	8	72
	会員数	536	619	385	376	469	363	2,748
	内、家族会員数	120	126	56	53	61	45	461
期首～9月末 会員増減数		9	3	15	1	9	6	43

アクティビティ状況

	8月計		9月計		17-18年度累計	
金額アクティビティ	211件	10,590,946円	150件	18,245,836円	454件	37,895,738円
事業資金獲得	3件	1,382,934円	7件	1,965,502円	14件	4,992,678円
労力アクティビティ	84件	3159 H	112件	5595.5 H	361件	11423 H
献血	6件	274,200cc	22件	298,800cc	33件	728,400cc
アイバンク登録者	0人		0人		0人	
角膜提供者	0人		0人		0人	
薬物乱用防止教室 開催件数	1件		3件		8件	
薬物乱用防止教室 動員数	79名		405名		978名	
使用済み切手	286,812枚		62,710枚		399,524枚	
書き損じ葉書	10枚		173枚		183枚	
使用済みプリカ	0枚		10枚		10枚	
例会、アクティビティ等の招待者数	244名		312名		878名	

LCIF 拠金集計表

8月分合計	クラブ数： 7	人数： 24 □	金額： 27,120ドル
9月分合計	クラブ数： 7	人数： 11 □	金額： 11,000ドル
2017-18年度累計	クラブ数： 25	人数： 69 □	金額： 72,360ドル

【8月分】 (24 □ 実質9名)

L 本多 和司 (札幌清田) 3回目
 L 荒井 喜和 (札幌清田) 9回目
 L 荒井 喜和 (札幌清田) 10回目
 L 荒井 喜和 (札幌清田) 11回目
 L 西國 宏治 (札幌清田) 6回目
 L 鶴嶋 浩二 (札幌中島) 65回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 72回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 73回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 74回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 75回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 76回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 77回目

L 高野 倫行 (札幌グリーン) 78回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 79回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 80回目
 L 高野 倫行 (札幌グリーン) 81回目
 L 今野 好信 (札幌ポプラ) 27回目
 L 能澤 正明 (札幌トラスト) 11回目
 L 能澤 正明 (札幌トラスト) 12回目
 L 能澤 正明 (札幌トラスト) 13回目
 L 能澤 正明 (札幌トラスト) 14回目
 L 能澤 正明 (札幌トラスト) 15回目
 L 野崎 光男 (芦別) 2回目
 L 柳瀬 広道 (芦別) 1回目

【9月分】 (11 □ 実質9名)

L 荒井 喜和 (札幌清田) 12回目
 L 荒井 喜和 (札幌清田) 13回目
 L 荒井 喜和 (札幌清田) 14回目
 L 鶴嶋 浩二 (札幌中島) 66回目
 L 前山 忠 (札幌新星) 13回目
 L 小畑 昭次 (岩見沢) 3回目
 L 富岡 芳明 (岩見沢) 1回目
 L 古谷野 環 (美唄) 20回目
 L 沼田 哲男 (芦別) 3回目
 L 浅井 富雄 (芦別) 6回目
 L 山田 忠明 (滝川中央) 32回目

～CONTENTS～

地区ガバナー、「会員増強・退会防止」を語る!!	1
覆面座談会	5
GMT コーディネーターからの論評	9
2015～2017 期首からの会員動静	10
331MD 会員増強アクションのお願い	13
リジョン特集	14
リジョン特集 (2R)	15
リジョン特集 (6R)	29
キャビネット事業報告	36
クラブアクティビティ報告	42
地区ガバナー・キャビネット動向	49
新入会員紹介・訃報	50
会員動向・アクティビティ状況・LCIF	55





■ 料金システム (会員様)

スパ・サウナ 24時間滞在OK!

充実の無料アメニティ!

ぜひ手ぶらでご来店ください

会員
価格 **¥2,200**

サービス
タイム **3時間 ¥900** **5時間 ¥1,100**
受付時間 / AM5:00~PM4:00時

※0:00~5:00入館。また通館が0:00を越す場合、別途深夜料金(600円)がかかります。※ご宿泊以外のお客様は、館外に外出できません。



カプセルホテル 24時間滞在OK!

全室液晶TV付き!
スタンダード 会員
タイプ(1泊) 価格 **¥3,000**
週末料金 ¥3,500

畳反りマットもまくら完備!
デラックス 会員
タイプ(1泊) 価格 **¥3,900**
週末料金 ¥4,400

午後1時まで
カプセルベット利用可能
ロングステイ 会員
スタンダード 価格 **¥3,200**
タイプ(1泊) 週末料金 ¥3,700

※チェックインから24時間以内であれば、チェックアウト後でも館内施設(スパ・サウナなど)をご利用いただけます。またお荷物をロッカーに預けての外出し可能です。

リフレ facebook

検索 ニコーリフレSAPPORO



ワクワク
情報を配信!

スパ・サウナ カプセル **ニコーリフレ**

ご予約・お問い合わせは tel **011-261-0108**

ウェブサイトも充実! **www.nikoh.info**
モバイル **www.nikoh.info/mobile**

札幌市中央区南3条西2丁目(フロント4F・狸小路2丁目3条通側)

男性専用

24時間営業

年中無休



選び抜かれた旬の食材と
北海道の雄大な風景を、
五感で味わう鉄板焼。



35th
ANNIVERSARY
KEIO PLAZA HOTEL SAPPORO



鉄板焼

やまなみ

22F

TEPPAN-YAKI YAMANAMI

シェフの鮮やかなナイフ捌きで、極上の素材たちが躍ります。
瞳に煌めく札幌の夜景とともに、北海道の豊かな味わいをお楽しみください。

ランチ：3,500円より

ディナー：10,000円より ※各税・サービス料込



 KEIO PLAZA HOTEL SAPPORO

〒060-0005 札幌市中央区北5条西7両目2番地1

TEL011-271-0111 (代表) <https://www.keioplaza-sapporo.co.jp/>